# TDC 通信パッケージ

# 操作マニュアル

株式会社トヨタシステムズ

第1.2.0版 2022年6月27日

# 変更履歴

項	版数	変更日付	変更内容
1	1.0.0	2018/4/1	新規作成
2	1.1.0	2020/3/16	操作マニュアルのレイアウト変更(通信パッケージ Ver1.1.1)
3	1.2.0	2022/6/27	ヘルプのリンク先変更

# 目次

1.	はじめば	ī		1
2.	操作メ	ニュー		2
2	. 1	ファイ	10受信	5
	2. 1.	1	ファイル受信	5
	2. 1.	2	ファイル再受信	8
2	. 2	ファイ	化送信	12
	2. 2.	1	ファイル送信	12
	2. 2.	2	ファイル再送信	16
2	. 3	情報	灵	22
	2.3.	1	センター蓄積照会	22
	2.3.	2	オーディットトレイル照会	24
	2.3.	3	状況確認照会	26
2	. 4	設定	穒(共通)	28
	2. 4.	1	メッセージマスタ設定	28
	2. 4.	2	アドレス帳マスタ設定	34
2	. 5	設定	ミ(ユーザー別)	38
	2. 5.	1	スケジュールマスタ設定:	38
	2. 5.	2	振分けマスタ設定	49
2	. 6	その	他	54
	2. 6.	1	転送結果検索	54
	2. 6.	2	システムログ検索	57
	2. 6.	3	システム監視	59
	2. 6.	4	要求取り消し	61
	2. 6.	5	エラーコード一覧	63
2	. 7	ユー	ザー切替	64
3.	システノ	ム管理	里メニュー	65
3	. 1	シス	テム運用	66
	3. 1.	1	システム起動・停止	66
	3. 1.	2	パスワード設定	68
	3. 1.	3	振分け情報受信	70
3	. 2	環境		71
	3. 2.	1	システム環境設定	71
	3. 2.	2	ユーザー登録	78
4.	ツール.			83
4	. 1	バッ	<i>り</i> アップ・リストアツール	83
4	. 2	設定	≧情報取得ツ−ル {	87
4	. 3	自動	加起動設定ツール	89
5.	補足.			91

5.	1	受信ファイル命名規則	91
5.	2	アプリケーションフォーマット	94

# 1. はじめに

このマニュアルは、TDC 通信パッケージの操作マニュアルです。

【本マニュアル関連サイト・ドキュメント】

・TDC パッケージ QA サイト https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/

・用語集

https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/glossary.pdf

・TDC 通信パッケージ操作マニュアル(本マニュアル) https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/pkgctl.pdf

# 2. 操作メニュー

()	信報	設定(共通)	その他
このファイル受信	シリー蓄積照会	☆ メッセージマスタ設定	三 転送結果検索
アイル再受信	オーディットトレイル照会	● アドレス帳マスク設定	日 システムログ検索
	天況確認照会		三 システム監視
心送信		設定(ユーザー別)	要求取り消し
シアイル送信		● スケジュールマスタ設定	三コードー覧
この ファイル再送信		● 振分けマスタ設定	

#### 【機能概要】

・ファイルの受信や送信、状況確認、マスタ管理など業務に関係する各機能を選択します。

#### 【運用手順】

①実施する機能を押下します。

②操作メニューを終了する場合は、 [終了]を押下します。

#### 【操作説明】

・各ボタンの概要を説明します。

- ファイル受信
  - ◆<u>ファイル受信</u>
    - ・DIEX(汎用)センター及び、u-DIEX(汎用)センターからファイルを受信します。
  - ◆<u>ファイル再受信</u>
    - ・TDC 通信パッケージがローカルに保管している前回受信時のファイルを指定した受信ディレクトルに 再受信します。

ローカルに無い場合は、DIEX(汎用)センター及び、u-DIEX(汎用)センターから再受信を試みます。

- ファイル送信
  - ◆<u>ファイル送信</u>
    - ・DIEX(汎用)センター及び、u-DIEX(汎用)センターへのファイル送信を行います。
  - ◆ ファイル再送信

・過去のファイル送信の再送信、または、上書き再送信を行います。

- 情報
  - ◆センター蓄積照会

・DIEX(汎用)センター及び、u-DIEX(汎用)センターに未受信のファイルが存在するか確認します。

◆オーディットトレイル照会

・オーディットトレイル情報を確認します。

- ◆ <u>状況確認照会</u>
  - ・DIEX(汎用)サービスのみ対象の機能です。

だれが(発信元)、だれに(宛先)データを送付し、いつ受信したか(配布日時)を確認できます。

- 設定(共通)
  - ※(共通)・・・該当端末の TDC 通信パッケージに登録されているユーザー全てに共通する情報を 管理します。
  - ◆ メッセージマスタ設定
    - ・メッセージマスタ(メッセージ識別子に分類されるデータ情報)を管理します。
  - ◆<u>アドレス帳マスタ設定</u>
     ・アドレス帳マスタ(宛先、発信元の情報)を管理します。
- 設定(ユーザー別)
  - ※(ユーザー別)・・・ログオン中のユーザーの情報を管理します。別ユーザーの情報を扱う際は、 ユーザー切替が必要です。
    - ◆<u>スケジュールマスタ設定</u>
      ・スケジュールマスタ(タイマーにて送信、受信、振り分け受信を行う処理情報)を管理します。
  - ◆振分けマスタ設定 ・振り分けマスタ(u-DIEX(汎用)サービス上の宛先情報)を管理します。
- その他
  - ◆転送結果検索
    - ・送信処理、受信処理、センター蓄積照会などの処理結果を確認します。
  - ◆<u>システムログ検索</u>
    - ・TDC 通信パッケージのシステムエラーなどを確認します。
  - ◆<u>システム監視</u>
    - ・TDC 通信パッケージのシステム稼働状態を確認します。
  - ◆要求取り消し
    - ・TDC 通信パッケージが処理中の処理要求を確認します。
  - ◆<u>エラーコード一覧</u>
    - ・TDC 通信パッケージが返すエラーコードの説明が確認できます。
- ユーザー切替

・ログオンしているユーザーを別のユーザーに切り替えます。

■ システム管理メニュー

・システム管理メニューを表示します。システムの起動/停止、システム環境設定などを行います。

■ 終了

・操作メニューを閉じます。 ※システム起動した TDC 通信パッケージがシステム停止するわけではありません。

- メイン
  - ◆操作メニュー ・操作メニューを表示します。
  - ◆システム管理メニュー

・システム管理メニューを表示します。システムの起動/停止、システム環境設定などを行います。

- ♦終了
  - ・操作メニューを閉じます。

※システム起動した TDC 通信パッケージがシステム停止するわけではありません。

- ツール
  - ◆バックアップ・リストアツール

・通信パッケージのバックアップまたはリストアを行います。

◆設定情報取得ツール

・調査の為に通信パッケージの設定情報などを取得します。

◆自動起動設定ツール

・自動起動の設定を変更します。

- ヘルプ
  - ◆操作説明

・操作マニュアルを表示します。

・URL

https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/pkgctl.pdf

◆用語集

・用語集を表示します。

·URL

https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/glossary.pdf

- ◆QA サイトを表示
  - ・FAQ サイトを表示します。
  - ۰URL

https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/

※いずれも、該当端末がイントラネットまたはインターネットに接続できる環境の場合に可能です。

# 2.1 ファイル受信

# 2. 1.1 ファイル受信

T.D.C.浸信パッケージ KENSHO FO	000SE2/01/DCOM1				
	5555EL@GDCOIN]				
作メーューファイル受信					
安信政走					通常
メッセージ識別子:		選択			傳失
発信元:			選択		IBE/D
				200 100	閉じる
フパイルハス石(*)。				74292	
ファイル統合:	●しない ○する				
受信情報					
アプリケーション有効	<b>1</b> :				
アプリケーションフォーマッ	۲: ۲:				
ファイルタイプ拡張	₹:				
コード変担	與:	圧縮:	暗号化:		
ヘッダー剤用	余:				
内容Jartz_23。					
08x7C=2.					

#### 【機能概要】

・受信するファイルの情報及び受信オプションを指定し、ファイルの受信指示を行います。

・1 度に受信できるファイル件数は 150 件までとなります。

・受信指示は、通常(受信の完了を待たない)、または優先(受信の完了待ち)で行います。

#### 【運用手順】

①受信設定として、メッセージ識別子・発信元・受信ファイルを保存するパス名・ファイル統合の指定を行います。
 ②指示の形式として、通常、または優先の指定を行います。

③受信結果が応答メッセージに表示されます。

#### 【操作説明】

・入力項目、および選択項目についての指定方法を説明します。

#### 1. 受信設定の指定

受信先の情報として、受信するファイルのメッセージ識別子と発信元の指定を行います。

A)メッセージ識別子は、任意の入力、または選択ボタンのクリックにより表示されるメッセージ識別子 選択ダイアログで指定します。

※メッセージ識別子選択ダイアログでは、任意のメッセージ識別子をダブルクリック、

または Enter キーのクリックで対象を確定します。



B)発信元は、任意の入力、または選択ボタンのクリックにより表示される別名選択ダイアログで指定します。

※別名選択ダイアログでは、任意の発信元をダブルクリック、または Enter キーのクリックで対象を 確定します。

※ブランク(未指定)の場合は、すべての発信元が対象となります。

※直接入力して指定する場合は、アドレス帳マスタに設定した別名・ニックネーム・宛先のいずれも 指定可能です。

※英文字は大文字と小文字が区別されます。

8489	
8489002	
8489006	
8489SE1	
8489555	
8489U05	
0405005	

C)ファイルパス名は、任意の入力、または選択ボタンのクリックにより表示されるファイルパス選択ダイアログで 受信したファイルの出力先の指定を行います。

※ファイルパス選択ダイアログでは、ダブルクリック、または Enter キーのクリックで対象ディレクトリを

確定します。

オルダーの参照	×
ファイルパス選択	
🗖 รัวๆ>รว	•
> 🐔 OneDrive	
> 👗 esuser	
🛩 🛄 PC	
> 👆 ダウンロード	
> 🔜 デスクトップ	
> 🖪 F#1X/F	
> 📰 ビクチャ	
> 🗃 ビデオ	
> 👌 ミュージック	
> 📲 フロッピーディスクドライブ (A:)	
> 📒 ローカルディスク(G)	
> 🖉 DVD ドライブ (D:)	
> 🛜 5(75)	
> 🥩 ネットワーク	
> ・4 ホームグループ	
> 💷 コントロール パネル	
man and a state of the second second	COM AND INC.

※ファイルパス名にファイルパス名を直接入力する時は、終端文字として円記号(¥)を付加して下さい。 ※指定したファイルパスが存在しない場合は、ディレクトリの自動作成は行われず、エラーとなります。

D)ファイル統合は、受信の対象となるファイルが複数存在した場合、複数のファイルを1つのファイルに 統合「しない」「する」の指定を行います。

※ファイル統合する場合は、一度の受信指示で受信したファイル全てが1つのファイルとして 指定ディレクトリ内に保管されます。

#### 2. 受信情報

受信するファイルの情報が表示されます。

メッセージ識別子を指定した時に、メッセージマスタより ファイルの情報として、アプリケーション有効長、アプリケーションフォーマット、 そのファイルの受信時の処理として、付与するファイルタイプ拡張子、コード変換の有無、圧縮の有無、 暗号化の有無、ヘッダー削除の有無を表示します。

※変更が必要な場合は、メッセージマスタ設定にてマスタの情報を修正する必要があります。

# 3. 通常·優先の受信指示

受信指示の方法は、通常と優先の2通りがあります。

ファイルの受信指示を、完了を待たずに非同期で行いたい場合は、 [通常] ボタンをクリックします。 ※非同期で受信指示を行った場合は、直ちにファイルが受信されるとは限りません。 (転送結果検索画面で処理結果を確認して下さい)

ファイルの受信指示を、完了を待つ同期で行いたい場合は、 [優先] ボタンをクリックします。 ※ファイルの受信完了後に、受信結果として応答メッセージ欄にステータスとメッセージが表示されます。

# 4. 画面を終了したいとき

ファイル受信画面を終了したい場合は、 [閉じる] ボタンをクリックします

# 2. 1.2 ファイル再受信

メッセージ環想子:     選択       期間間接定(*):     ●日時指定       2018/08/01 00:00 □*     ~ 2018/08/02 00:00 □*       ご請報     通数       アパル(ス名(*):     選択       (全てのアパルを同じパスに受信します)     選択       空信     指示目論       クロシックルを同じパスに受信します)     第一、登信、2018/08/01 16:25:09       2018/08/01 16:25:05     TESTTNS       2018/08/01 16:16:30     TESTTNS       2018/08/01 16:16:30     TESTTNS       2018/08/01 16:16:30     TESTTNS	CHEATLY .										検索
「開発管定(*): ● 日時指定 2018/08/01 00:00 □・ ~ 2018/08/02 00:00 □・ ○ 過去 日 ○ 過去 時 優 優 情報 ファイル(ス名(*): (全てのアイルを同じてんに受信にます) 愛信 指示日時 水セン・流列子 発信元 優先/通常 コマンド 終了日時 3-7-92 2018/08/01 16:25:05 TFSTTNS * 優先 受信 2018/08/01 16:25:09 000-000 2018/08/01 16:16:30 TFSTTNS * 優先 受信 2018/08/01 16:16:34 000-000	メッセ-	-ジ識別子:[		遺択							语常
は 講研 ファイル(パス名(+): (全てのファイルを同じパズに受信します) 受信 指示目論 水セーン:識別子 発信元 優先/通常 コマンド 終了日時 ステージス 2018/08/01 16:25:05 TESTTNS * 優先 受信 2018/08/01 16:25:09 000-000 2018/08/01 16:16:30 TESTTNS * 優先 受信 2018/08/01 16:16:34 000-000 2018/08/01 16:16:30 TESTTNS * 優先 受信 2018/08/01 16:16:34 000-000	期間	制程定(*): (	日時指定	2018/08/01 0	0:00 💷 ~ 2018/08/	02 00:00 💷-	過去	日 ○ 過去	35	l.	福佐
	(minute										
(全てのファイルを同じてんご受信します)     (全てのファイルを同じてんご受信します)     受信 指示目論 かたい 満別子 発信元 優先/通常 コマンド 終了日時 3-5-92     2018/08/01 16:25:09 155:01 TESTTNS * 優先 受信 2018/08/01 16:16:34 000-000     2018/08/01 16:16:30 TESTTNS * 優先 受信 2018/08/01 16:16:34 000-000     2018/08/01 16:16:30 TESTTNS * 優先 受信 2018/08/01 16:16:34 000-000	77/1	15781+3+ [						355 10			J/4/L0#
	20:204	I AGE T	2707041	は同じパスに受信し	<b>∓</b> त)			100 M			同じる
受信         指示日時         水セン「原则子         発信元         優先/通常         コマンド         経了日時         ステータス           2018/08/01 16:25:05         TESTTNS         *         優先         受信         2018/08/01 16:25:09         000-000           2018/08/01 16:16:30         TESTTNS         *         優先         受信         2018/08/01 16:16:34         000-000           2018/08/01 16:01:16:30         TESTTNS         *         優先         受信         2018/08/01 16:16:34         000-000           2018/08/01 16:01:16:30         TESTTNS         *         優先         受信         2018/08/01 16:16:34         000-000		10	± 59/27 13	PCHOICE CHO	0						
2018/08/01 16:25:05         TESTTNS         ・         損先         受信         2018/08/01 16:25:09         000-000           2018/08/01 16:16:30         TESTTNS         ・         損先         受信         2018/08/01 16:16:34         000-000           2018/08/01 16:16:30         TESTTNS         ・         損先         受信         2018/08/01 16:16:34         000-000           2018/08/01 16:01:14         COLD         ●         ●         受信         2018/08/01 16:16:34         000-000	明受信	指示日	100	炒~》。跟别子	発信元	優先/通常	コマンド	終了日	時	27-92	
2018/08/01 16:16:30 TESTINS * 模仿 2018/08/01 16:16:34 000-000		2018/08/01	16:25:05	TESTTNS		優先	受信	2018/08/01	16:25:09	000-000	
		2018/08/01	16:16:30	TESTINS	* 6490001	優先	受信 22/10	2018/08/01	16:16:34	000-000	
		CONTRACTOR OF STREET		1 Marcal Control	CONTRACTOR OF THE OWNER	and the second		2010/00/01			
											+0.000

#### 【機能概要】

・過去の受信指示より検索を行い、再受信の対象となる受信指示を画面上に一覧表示を行います。

・再受信を行う受信指示を指定します。

※通常:受信の完了を待たない 優先:受信の完了を待つ

#### 【運用手順】

①検索条件の指定を行い、過去の受信指示より一覧表示を行います。

②一覧表示された過去の受信指示より、再受信を行う受信指示の指定を行います。(複数指定可)

③指示の形式として、通常 又は 優先の指定を行います。

④受信結果が応答メッセージに表示されます。

#### 【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

#### 1. 一覧表示の検索条件指定

・過去の受信指示を画面上に一覧表示する為の検索条件は、メッセージ識別子及び日付で指定を 行います。指定した条件を全て満たした受信指示が表示の対象となります。

A)メッセージ識別子は、任意の入力 又は 選択ボタンのクリックにより表示されるメッセージ識別子 選択画面で指定を行います。

メッセージ識別子選択画面では、任意のメッセージ識別子をマウスでダブルクリック、

又は選択後、Enter キーのクリックで対象の確定を行います。

※メッセージ識別子の一致する受信指示が表示の対象となります。



B)期間指定は、以下の3通りの方法より指定が可能です。

- a.開始日時・終了日時の指定による検索 開始日時と終了日時の指定を行い、その間に行われた受信指示が表示の対象となります。 ※初期表示は、開始日時は当日の0:00、終了日時は翌日の0:00 が表示されます。
- b.現在より過去の日数による検索
   現在から過去の日数の指定を行い、その間に行われた受信指示が表示の対象となります。
   ※入力可能な日数は1~99日です。
- c.現在より過去の時間数による検索 現在から過去の時間数の指定を行い、その間に行われた受信指示が表示の対象となります。 ※入力可能な時間数は1~999時間です。

# 2. 受信情報の指定

・受信するファイルの情報として、ファイルパス名の指定を行います。 受信したファイルは指定したパスのディレクトリ内に保管されます。

 A)ファイルパス名は、任意の入力 又は選択ボタンのクリックにより表示されるファイルパス 選択画面で指定を行います。ファイルパス選択画面では、任意の受信パスを 選択後 Enter キーのクリック又は マウスで画面上の [OK] ボタンのクリックで対象の確定を行います。
 ※指定したファイルパスが存在しない場合、ディレクトリの自動生成は行われずエラーとなります。



# 3. 一覧表示の検索指示

・指定済みの検索条件で過去に行った受信指示を画面上に一覧表示する場合に指示を行います。

A)指示方法は、マウスで画面上の [検索] ボタンのクリックにより、検索を開始して一覧表示を 行います。検索を行った結果、対象となった受信指示の件数が右下に表示されます。

#### 4. 再受信の指定

・再受信の指定は、過去の受信指示を表示した画面上の一覧表示からの選択により行います。

A)指定方法は、一覧表示より再受信を行う再受信の欄をマウスでダブルクリック又は、選択後、
 Enter キーのクリックで指定を行います。再受信の欄に'Y'が表示されている受信指示が再受信の
 対象となります。(複数選択可)
 ※指定済みで'Y'が表示されている受信指示を、再度指定することにより指定のキャンセルとなります。

# 5. 通常·優先の受信指示

・受信指示の方法は、通常と優先の2通りがあります。

- A)ファイルの再受信を、受信の完了を待たずに非同期で行いたい場合は、マウスで画面上の [通常] ボタンのクリックにより行います。
- B)ファイルの再受信を、受信の完了を待つ同期で行いたい場合は、マウスで画面上の [優先] ボタンの クリックにより行います。
  - ※ファイル再受信の完了後に、受信結果として応答メッセージ欄にステータスとメッセージが表示されます。
    ※ファイルの再受信ができなかった受信指示に対しては、一覧表示の再受信の欄に、エラー、と表示され、
    以降の再受信処理は終了します。エラーとなった受信指示に対しては、「4.再受信の指定」と
    同様の手順で再度再受信の指定を行うことができます。

# 6. 受信ファイルの詳細表示

・[ファイル詳細] ボタンのクリックにより、ファイル詳細情報画面に遷移し、受信したファイルの内容を 確認できます。

0001         000-000         NS         8489         8489         180801         02         000041         優先           0001         000-000         NS         8489         8489         180801         02         000041         優先           0001         000-000         NS         8489         8489         180801         02         000001         優先	再受信	サブSEQ	19-3-4	ファイルコード	宛先	発信元	ファイル作成日付	当日SEQ	件數	通符
0001         000-000         TNS         8489         8489         180801         02         000004         優先           0001         000-000         000-000         000001         原之         000001         原之		0001	000-000			Lettered	1		000001	
5页 100000 10000 10000 1000 1000 1000 100	-	0001	000-000	TNS	8489	8489	180801	02	000044	優先
		0001	000-000	32018	10.000	S17822	10000000	a serve de	000001	

A)ファイル詳細情報画面で表示の対象になるデータは、ファイル再受信画面で「4. 再受信の指定」の 手順により選択されている行のデータです。

B)再受信するファイルの指定方法は、「4. 再受信の指定」と同じです。

C)通常・優先の受信指示方法は、「5.通常・優先の受信指示」と同じです。

D)ファイル詳細情報画面を終了したい場合は、マウスで画面上の [戻る] ボタンのクリックにより終了し、 ファイル再受信画面に戻ります。

# 7. 画面を終了したい時

・画面を終了したい場合は、マウスで画面上の [閉じる] ボタンのクリックにより終了を行います。

# 2.2 ファイル送信

# 2. 2.1 ファイル送信

🚯 T D C 遺信パッケージ O999SE1 [IO995	5E1:09995E1@UDCOM]	- 🗆 X
メイン ツール ヘルプ		
操作メニュー ファイル送信		
送信設定		122.000
メッセージ識別子(*):	選択	通吊
<b>密告(</b> *)・	19240	優先
7676( + ) .		閉じる
ファイル名(*):	選択	
送信情報		
アプリケーション有効長:		
フォーマット :	● TNS形式 ○ TNS拡張形式 ○ 標準形式 ○ 自由形式	
ヘッダー作成:	● しない ○ する	
ファイルタイプ拡張子(*):		
コード変換:	●しない ○する	
圧縮:	● しない ○ する	
暗号化:	●しない ○する	
応答メッセージ:		
09995E1 [I09995E1:09995E1@UDC	OM1	

#### 【機能概要】

- ・送信するファイル情報及び送信オプションを指定し、ファイルの送信指示を行います。
- ・送信指示は、 [通常] (送信の完了を待たない)、または [優先] (送信の完了待ち)で行います。
- ・マルチファイル(1 ファイルに複数の HDT を含む)を送信することが可能です。
- (詳細は、【**5. マルチファイルを送信したい時**】を参照してください。)

#### 【運用手順】

- ①送信設定として、メッセージ識別子・宛先・ファイル名の指定を行います。
- ②送信情報として、アプリケーション有効長・フォーマット・ヘッダー作成・ファイルタイプ拡張子・コード変換・ 圧縮・暗号化の指定を行います。
- ③指示形式として、通常・優先のボタン指定を行います。
- ④送信結果が応答メッセージに表示されます。

#### 【操作説明】

・入力項目、および選択項目についての指定方法を説明します。

#### 1.送信設定の指定

送信先設定として、メッセージ識別子・宛先・ファイル名の指定を行います。

送信するファイルの情報として、メッセージ識別子・宛先・送信ファイル名の指定を行います。

メイン ヘルプ 現件メニュースクジュールマスク設定 ファイル送信 洋信期ま			
操作シニュースケジュールマスタ設定しアイルムとは			
法律职定			
		通常	
xwtz-与期别子(*): TEXTDIEX 通択		爆体	
殉先(*): 9999000 選択		196.710-	
75/1/2/+1- C-V(JearyVim2402aVOacumenteVTEVTDIEV 20190222002 bet	102.10	1302	
VPN/d(*). p.+oserstkins467e4b0cuments4TeXTb1cA.20160727605.0kt	70.84		
法信律部			
アプルケーション有効長: 0			
フォーマット: O TNS形式 O TNS拡張形式 O 標準形式 ® 自由形式			
ヘッダー作成: ●しない ○する			
ファイルタイプ紙組子(*): bt			
コード変換: ●しない ○する			
圧縮: ⑧しない 〇 する			
i箱号化: ● <mark>し</mark> ない ○ する			
応晋 2012ジ:			

A)メッセージ識別子は、任意の入力、または [選択] ボタンのクリックにより表示されるメッセージ識別子 選択ダイアログで指定を行います。

※メッセージ識別子選択ダイアログでは、メッセージ識別子をダブルクリック、

または Enter キーで対象を確定します

🚺 メッセージ 識別	小子選択	×
IFRE001N	1	^
ITDC001	٧	
ITDC002M	J	
ITDC003N	J	
ITDC004M	J	
ITDC005M	J	
ITDC006M	J	
ITEF001H		×
the state is not a state of the		

B)宛先は、任意の入力、または [選択] ボタンのクリックにより表示される別名選択ダイアログで 指定を行います。

※別名選択ダイアログでは、宛先をダブルクリック、または Enter キーで対象を確定します。

※直接入力して指定する場合は、アドレス帳マスタに設定した別名・ニックネーム・宛先のいずれも 指定可能です。

※英文字は大文字と小文字が区別されます。

8489	
8489002	
8489006	
8489SE1	
8489SSS	
8489U05	

C)ファイル名は、任意の入力、または [選択] ボタンのクリックにより表示されるファイル選択ダイアログで 指定を行います。 ※ファイル選択ダイアログでファイルが格納されているディレクトリの選択をクリック、
 またはカーソルキーで指定できます。
 ※選択されたディレクトリに格納されているファイルのファイル名は、画面右側に一覧として表示されます。
 ※その中から送信するファイルのファイル名をダブルクリック、または Enter キーで確定します。

※ファイル名の拡張子を省略するとファイルタイプ拡張子で指定した拡張子がデフォルトとして 使用され、送信ファイル名が作成されます。

# 2.送信情報の指定

送信情報の指定では、ファイルを送信する時に行う処理として、アプリケーション有効長・フォーマット・ ヘッダー作成・ファイルタイプ拡張子・コード変換・圧縮・暗号化の指定を行います。 ※送信情報の各項目は、送信設定でメッセージ識別子を選択したとき、メッセージマスタより デフォルト値が表示されます。

A)アプリケーション有効長は、アプリケーションフォーマットの指定が「TNS形式」

- 「TNS拡張形式」の場合のみ指定可能です。
- ※「TNS形式」の場合は、「2~250」バイトで指定を行います。
- ※「TNS拡張形式」の場合は、「7~1000」バイト、または「ブランク(未入力)」で 指定を行います。
- ※ヘッダー作成の指定を「しない」の場合は、指定不可となります。
- B)フォーマットの指定は、「TNS形式」「TNS拡張形式」「標準形式」「自由形式」の 4通りから選択して指定を行います。
- C)ヘッダー作成は、フォーマットの指定が「TNS形式」「TNS拡張形式」の場合のみ指定可能で、 「する」「しない」の指定を行います。

D)ファイルタイプ拡張子の指定は、送信ファイルの拡張子を指定します。

E)コード変換は、送信するファイルのコードを変換「する」「しない」の指定を行います。

- F)圧縮は、送信するファイルの圧縮を「する」「しない」の指定を行います。
   ※u-DIEX(汎用) に送信する場合は、本設定は無効となります。
   ※アプリケーション形式が「TNS形式」「TNS拡張形式」の場合は、設定内容に関わらず、
   常にファイルが圧縮されます。
- G)暗号化は、ファイルの暗号化を「する」「しない」の指定を行います。 ※u-DIEX(汎用) に送信する場合は、本設定は無効となり、システム環境設定での u-DIEX の 暗号化の設定内容に従います。

# 3. 通常·優先の送信指示

送信指示の方法は、[通常]と[優先]の2通りがあります。

- A)ファイルの送信指示を、完了を待たずに非同期で行いたい場合は、[通常] ボタンをクリックします。
   ※非同期で送信指示を行った場合は、直ちにファイルが送信されるとは限りません。
   転送結果検索画面で確認して下さい。
- B)ファイルの送信指示を、完了を待つ同期で行いたい場合は、[優先]ボタンをクリックします。 ※ファイルの送信完了後に、送信結果として応答メッセージ欄にステータスとメッセージが表示されます。

# 4. 画面を終了したい時

ファイル送信画面を終了したい場合は、 [閉じる] ボタンをクリックします。

# 5. マルチファイルを送信したい時

同一のファイルコードをもつファイルに対して、複数の宛先へ送信可能です。 マルチファイル内のファイル件数には制限があります。(下記参照)

# <注意事項>

送信できるマルチファイル件数は、600 件になります。 (他の処理要求指示がない場合に、送信したときの送信可能な件数です)

マルチファイル送信時に「202-202:内部メモリー領域がフルになりました。要求データは キャンセルされました。」とエラーメッセージが表示されたときは、現在実行中の処理が終了後に、 再度送信を指示する必要があります。(下記参照)

お客様が400 件からなるマルチファイルを送信(処理①)
 要求①の処理が終了しない間に、300 件からなるマルチファイルを送信(処理②)
 送信可能なファイル件数は600 件までの為、「202-202」エラーが発生。

# 2. 2.2 ファイル再送信

🗘 T D C 通信パッケージ O9	99SE1 [IO999SE1:O999SE1	I@UDCOM]				- 🗆 X
メイン ツール へん	プ					
操作メニュー ファイル再注	送信					
検索条件						10.±
送信種別:	● 再送信 ○	上書き送信				梗架
×ッセージ識別子:		選択	宛先:		選択	再送信
期間指定(*):	<ul> <li>日時指定</li> <li>20</li> </ul>	19/10/01 00:00		00 🐨 〇 過去 📃 日	〇過去時	閉じる
再送信	指示日時	メッセージ識別子	宛先	優先/通常 APL変換	ファイル拡張子 ファイルフォーマット	圧縮
						検索結果
応答メッセージ:						

#### 【機能概要】

・過去の送信指示より検索を行い、再送信、および上書き送信の対象となる送信指示を区別し、

ファイル再送信画面上に一覧表示を行います。

- ・再送信、または上書き送信を行う送信指示を指定します。
- ・再送信は前回指定された状態(通常/優先)で送信指示を行います。
- ・上書き送信は通常/優先を指定して送信指示を行います。

※通常:送信の完了を待たない

優先:送信の完了を待つ

#### 【運用手順】

A)再送信

- ①検索条件の指定を行い、過去の送信指示よりの一覧表示を行います。
- ②一覧表示された過去の送信指示より、再送信を行う送信指示の指定を行います。(複数指定可)
- ③ [再送信指示]を行います。

④送信結果が応答メッセージに表示されます。

※転送エラーが発生し、前回の送信指示と同じ内容で送信を行う場合に行います。

#### B)上書き送信

①検索条件の指定を行い、過去の送信指示より一覧表示を行います。

- ②一覧表示された過去の送信指示より、上書き送信を行う送信指示の指定を行います。(複数指定可)
- ③ [再送信指示] を行います。
- ④ファイル上書き送信指示の画面が表示されます。
- ⑤送信設定として、メッセージ識別子・宛先・ファイル名の指定を行います。
- ⑥送信情報として、アプリケーション有効長・フォーマット・ヘッダー作成・ファイルタイプ拡張子コード変換・ 圧縮・暗号化の指定を行います。
- ⑦指示形式として、通常・優先のボタン指定を行います。

⑧送信結果が応答メッセージに表示されます。

※前回の送信指示の内容を変更して送信を行う場合に行います。

(ただし、メッセージ識別子と宛先の変更は行えません)

※送信ファイルの内容が変更された場合も、上書き送信を指定する必要があります。

#### 【操作説明】

・入力項目、および選択項目についての指定方法を説明します

# 1. 一覧表示の検索条件指定

過去の送信指示を画面上に一覧表示する為の検索条件は、送信種別・メッセージ識別子・宛先・ 期間指定で行います。指定した条件を全て満たした送信指示が表示の対象となります。

A)送信種別は、以下の2通りから指定します。

- a.過去に行った送信指示で、異常終了した送信指示を前回指定した条件で 再度送信指示を行う場合、「再送信」を指定します。
- b.過去に行った送信指示で、正常終了した送信指示内容を変更して行う場合、 「上書き送信」を指定します。
- B)メッセージ識別子は、任意の入力、または [選択] ボタンのクリックにより表示されるメッセージ識別子 選択ダイアログで指定を行います。
  - ※メッセージ識別子選択ダイアログでは、メッセージ識別子をダブルクリック、または Enter キーにより 対象の確定を行います。

🚺 メッセージ 識別子選択	×
IFRE001N	^
ITDC001N	
ITDC002N	
ITDC003N	
ITDC004N	
ITDC005N	
ITDC006N	
ITEF001H	~

※メッセージ識別子の一致する送信指示が表示の対象となります。

※ブランク(未指定)の場合は、全てのメッセージ識別子が対象となります。

- C)宛先は、任意の入力 又は [選択] ボタンのクリックにより表示される別名選択ダイアログで指定を 行います。
  - ※別名選択ダイアログでは、宛先をマウスでのダブルクリック、または Enter キーで対象を確定します。

() 別名選択	×
8489	
8489002	
8489006	
8489SE1	
8489SSS	
8489U05	

※宛先の一致する送信指示が表示の対象となります。

※ブランク(未指定)の場合は、全ての宛先が対象となります。

D)日付指定は、以下の3通りの方法より指定が可能です。

- a.開始日時・終了日時の指定による検索 開始日時と終了日時の指定を行い、その間に行われた送信指示が表示の対象となります。 ※初期表示は、開始日時は当日の0:00、終了日時は翌日の0:00 が表示されます。
- b.現在より過去の日数による検索
   現在から過去の日数の指定を行い、その間に行われた送信指示が表示の対象となります。
   ※入力可能な日数は1~99日です。
- c.現在より過去の時間数による検索 現在から過去の時間数の指定を行い、その間に行われた送信指示が表示の対象となります。 ※入力可能な時間数は1~999時間です。

# 2. 一覧表示の検索指示

指定済みの検索条件で過去に行った送信指示を画面上に一覧表示する場合に指示を行います。

A)ファイル再送信指示画面上の [検索] ボタンのクリックにより、検索を開始して一覧表示を行います。 B)検索を行った結果、対象となった送信指示の件数が右下に表示されます。

# 3. 再送信・上書き送信の表示

検索条件で過去に行った送信指示を検索・一覧表示した時に、送信種別を「再送信」とし、再送信の 対象となる送信指示が表示されている場合は、ファイル再送信指示画面上に「再送信データ」 と表示されます。 送信種別を「上書き送信」とし、上書き送信の対象となる送信指示が表示されている場合は、 ファイル再送信指示画面上に「上書き送信データ」と表示されます。 画面に一覧表示されているデータの種別であり、一覧表示後、検索条件の送信種別を変更した場合でも

# 4. 再送信・上書き送信の指定

検索開始を行わない限り、表示内容は変更されません。

再送信・上書き送信の指定は、過去の送信指示を表示した画面上の一覧表示から選択により行います。 「再送信データ」として検索・表示されている場合、一覧表示から指定した送信指示は再送信が行われ、 「上書き送信データ」として検索・表示されている場合は、上書き送信指示が行われます。

A)指定方法は、一覧表示より再送信・上書き送信を行う対象の「再送信」の欄を Enter キー、 またはダブルクリックします。

※再送信の欄に"Y"が表示されている送信指示が、再送信指示・上書き送信指示の対象となります。 ※指定済みで"Y"が表示されている送信指示を、再度指定することにより指定のキャンセルとなります。

#### 5. 再送信指示

送信指示の方法は、前回指示した内容で送信され変更することはできません。

- A)一覧表示から再送信する対象を選択し、[再送信]ボタンをクリックします。
   ※複数の送信指示を選択して再送信指示を行った場合、送信開始後、途中でのキャンセルは 行えません。
  - ※ファイル再送信の完了後に、送信結果として応答メッセージ欄にステータスとメッセージが表示されます。
  - ※ファイル再送信ができなかった送信指示に対しては、一覧表示の再送信の欄に"エラー"と表示され、 以降の再送信処理は中断します。
  - ※エラーとなった送信指示に対しては、【4. 再送信・上書き送信の指定】と同様の手順で 再度、再送信の指定を行うことができます。

# 6. 上書き送信の再送信情報指定

再送信情報の指定は、前回行った送信指示の情報を変更して送信指示を行う場合に指定を行います。

前回送信ステータス		通常
19247114 : 2018/02/2	1442/0133 0648262421491: 2018/02/22 1442/0142 162/22 162/2 162/2 162/2 162/2 162/2	優先
再送信情報		207-5
メッセージ識別子:	TESTDIEX	
ノバイル名(*):	C:Ytest.bd 通识	1217 - 7
アプリケーション有効長:	123	辰る
74-391		
へッター作成	●Lau Ota	
ファイルタイプ拡張子(*):	txt	
□−下変換:	●しまい ○ まる	
臣緒:	e Law O #8	
暗号化。	● Lan Ots	

A)一覧表示から上書き送信の対象を選択し、[再送信]ボタンのクリックにより、

ファイル上書き送信指示画面に遷移します。

※ファイル上書き送信指示画面では、前回送信指示を行った内容が画面に表示されます。
※次のデータを表示させたい時は、ファイル再送信指示画面上の[次データ] ボタンをクリックします。
※前のデータを表示させたい時は、ファイル再送信指示画面上の[前データ] ボタンをクリックします。
※表示されるデータの範囲は、ファイル再送信指示画面の一覧表示内で 再送信の指定を行ったデータのみです。

B)前回行った送信指示の結果として、指示日時・最終送信時間・通常/優先・結果ステータスが 表示されます。

C)メッセージ識別子・宛先は、過去に行った送信指示内容を変更することはできません。

D)アプリケーション有効長は、フォーマットの指定が「TNS形式」「TNS拡張形式」の場合のみ 指定可能です。

※「TNS形式」の場合は、「2~250」バイトで指定を行います。

※「TNS拡張形式」の場合は、「7~1000 バイト」、または「ブランク(未入力)」バイトで 指定を行います。

- E)フォーマットの指定は、「TNS形式」「TNS拡張形式」「標準形式」「自由形式」の 4通りから選択します。
- F)ヘッダー作成は、フォーマットの指定が「TNS形式」「TNS拡張形式」の場合のみ指定可能です。 ※フォーマット変換を「する」「しない」の指定を行います。

G)ファイルタイプ拡張子の指定は、送信ファイルの拡張子を指定します。

- H)ファイル名は、任意の入力、または [選択] ボタンのクリックにより表示されるファイル選択ダイアログで 指定を行います。
  - ※ファイル選択画面で送信ファイルが格納されているディレクトリをマウスでクリック、

またはカーソルキーで選択を行うことができます。

- ※選択されたディレクトリに格納されているファイル名は、画面右側に一覧として表示され、送信ファイルの ファイル名をダブルクリック、または Enter キーにより対象とするファイルの確定を行います。
- ※ファイル名の拡張子を省略するとファイルタイプ拡張子で指定した拡張子がデフォルトとして 使用され、送信ファイル名が作成されます。

← → * ↑	デスクトップ » TEST	~ Ö	TESTの検索	
整理 * 新しいフォルダー				H • 🖬
PC     PC     PO オブジェクト     ダクソロード     ダクソロード     ダクソロード     マカト      マー      マー      マー      マー      マー      マー      マー	€® ^ ∰2≥9,πtfooktat	東田日降 2009/12/17 11:19	推頭 TXT ファイル	94X 1K8
〒 豊田文店 (Wad.t 、 ファイル名)	(N):		✓ All files (*.*) 屋((0)	キャンセル

I)コード変換は、送信するファイルのコード変換を「する」「しない」の指定を行います。

J)圧縮は、送信するファイルの圧縮を「する」「しない」の指定を行います。

K)暗号化は、ファイルの暗号化を「する」「しない」の指定を行います。

※u-DIEX(汎用) に送信する場合は、本設定は無効となり、システム環境設定"u-DIEX"の暗号化の 設定内容に従います。

# 7. 通常・優先の上書き送信指示

上書き送信指示の方法は、前回指示した内容に関係なく通常と優先の2通りで行います。

- A)ファイルの上書き送信指示を、完了を待たずに非同期で行いたい場合は、
   上書き送信指示画面上の [通常] ボタンをクリックします。
   ※非同期で送信指示を行った場合は、直ちにファイルが送信されるとは限りません。
   (転送結果検索画面で確認して下さい)
- B)ファイルの上書き送信指示を、完了を待つ同期で行いたい場合は、[優先] ボタンをクリックします。
   ※ファイルの受信完了後に、送信結果として応答メッセージ欄にステータスとメッセージが表示されます。
   ※ファイル上書き送信ができなかった送信指示に対しては、画面の再送信の欄に"エラー"と表示され、
   以降の上書き送信処理は中断します。
  - ※エラーとなった送信指示に対しては、【4. 再送信・上書き送信の指定】と同様の手順にて 上書き送信の指定を行うことができます。

# 8. ファイル上書き送信画面を終了したいとき

ファイル上書き送信画面を終了したい場合は、 [戻る] ボタンをクリックします。

# 9. ファイル再送信画面を終了したいとき

ファイル再送信画面を終了したい場合は、 [閉じる] ボタンをクリックします。

# 2.3 情報

# 2. 3.1 センター蓄積照会

会条件 	選択 発信元:		選択		照会
			照会時間: 2019/10	0/01 16:06:04	閉じる
蓄積日時	メッセージ識別子	発信元	ファイルサイズ(バイト)	センター	
19/09/27 16:50:52	ITNSVR11	UDCOM 0999SE1	50050	u-DIEX	

#### 【機能概要】

・センター上に蓄積されている未受信ファイル(受信ファイル指示の対象となるファイル)の
 蓄積状況をセンターに問合せて、その結果を画面上に一覧表示します。
 ※問合せ対象のセンターは、システム環境の設定やユーザー登録内容により
 DIEX(汎用)のみ、u-DIEX(汎用)のみ、DIEX(汎用)と u-DIEX(汎用)の両方となります。
 ・問い合わせを行う条件として、メッセージ識別子・発信元を指定可能とします。

#### 【運用手順】

1 照会条件の指定を行い、受信ファイルの一覧表示を行います。
 2 問い合わせ結果が応答メッセージに表示されます。

#### 【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

#### 1. 一覧表示の照会条件指定

- ・DIEX(汎用)とu-DIEX(汎用)に受信ファイルの蓄積状況を問い合わせる為の、照会条件を指定します。 指定した条件を全て満たした受信ファイルが表示の対象となります。
- A)メッセージ識別子は、任意の入力 又は 選択ボタンの押下により表示されるメッセージ識別子
  - 選択画面で指定を行います。

※メッセージ識別子選択画面では、任意のメッセージ識別子をマウスでダブルクリック 又は 選択後、

Enter キーの押下により対象メッセージ識別子の確定を行います。

🚺 メッセージ 識別子選択	×
IFRE001N	^
ITDC001N	
ITDC002N	
ITDC003N	
ITDC004N	
ITDC005N	
ITDC006N	
ITEF001H	~

※メッセージ識別子の一致する受信ファイルが表示の対象となります。

※ブランク(未指定)の場合は、全てのメッセージ識別子が対象となります。

B)発信元は、任意の入力 又は [選択] ボタンの押下により表示される別名選択画面で 指定を行います。

※別名選択画面では、発信元名をマウスでダブルクリック 又は、選択後、Enter キーの押下により 対象発信元の確定を行います。

※発信元の一致する受信ファイルが表示の対象となります。

※ブランク(未指定)の場合は、全ての発信元が対象となります。

※英文字は大文字と小文字が区別されます。

8489	
8489002	
8489006	
8489SE1	
8489555	
8489U05	

# 2. 一覧表示の照会指示

・DIEX(汎用)とu-DIEX(汎用) に対して、受信ファイルの蓄積状況の問い合わせを行います。

A)指定した照会条件で受信ファイルを表示する場合、マウスでセンター蓄積照会画面上の [照会] ボタンをクリックします。

※問い合わせを行った日時が、画面に照会時間として表示されます。
※受信ファイルの情報照会後に、照会結果として応答メッセージ欄にステータスとメッセージが表示されます。

# 3. 画面を終了したい時

・センター蓄積照会画面を終了したい場合は、マウスで画面上の [閉じる] ボタンをクリックします。

# 2. 3.2 オーディットトレイル照会

シートリナ									
メニュー オーディッ	トトレイル照会								
徐条件									100
期間指定(*):	④日付指定 2018/08	/03 💷- ~ 2016	/08/09 💷+	〇週去	B				500.20
火地-ジ区分:	● 全て ○ 受信 ○ 送(	= xyt-:	×水橋: ● 1	ての未受信	○ 受信済	○朝除			詳細
							照会時間: 3	2018/08/10 15:23:33	1903
送信日付時間	受信/削除日付時間	xyセージ識別子	J	発信元	n	相手先	ステー	タスレコードタイプ	
/08/06 11:24:5	2 18/08/06 11:28:25 0	KAWWA02	0999 0	9995E1	0999	0999SE1	受信	済自分強てに送信	

#### 【機能概要】

- ・照会条件を指定してオーディットトレイルの情報を DIEX(汎用)と u-DIEX(汎用) に問い合わせを行い、 問い合わせ結果面上に一覧表示します。
- ・照会条件として期間指定・メッセージ区分・メッセージ状態を指定可能とします。

# 【運用手順】

①照会条件の指定を行い、オーディットトレイル情報の一覧表示を行います。
 ②問い合わせ結果が応答メッセージに表示されます。

#### 【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

# 1. 一覧表示の照会条件指定

・DIEX(汎用)とu-DIEX(汎用)にオーディットトレイルの情報を問い合わせる為の、照会条件を 指定します。指定した照会条件を全て満たした受信ファイルが表示の対象となります。

A)期間指定は、以下の2通りの方法より指定が可能です。

a)開始日付・終了日付の指定による検索

開始日付と終了日付の指定を行い、その間に該当する送信日時のオーディットトレイル情報が 表示の対象となります。

b)現在より過去の日数による検索 現在から、過去の日数を指定することにより、その間に該当する送信日時の オーディットトレイル情報が表示の対象となります。 ※入力可能な日数は1~99日です。

- B)メッセージ区分は、一覧表示の対象とするファイルの区分を限定する場合に指定を行います。 全てを対象とする場合は「全て」、受信のみを対象とする場合は「受信」、 送信のみを対象とする場合は「送信」の指定を行います。
- C)メッセージ状態は、一覧表示の対象とするファイルの状態を限定する場合に指定を行います。 全てを対象とする場合は「全て」、未受信のみを対象とする場合は「未受信」、受信済のみを 対象とする場合は「受信済」、削除のみを対象とする場合は「削除」の指定を行います。

# 2. 一覧表示の照会指示

・DIEX(汎用)とu-DIEX(汎用)に対して、オーディットトレイル情報の問い合わせを行います。

A)指定した照会条件でオーディットトレイルを表示する場合、オーディットトレイル照会画面上の [照会] ボタンのクリックにより行います。
※問い合わせを行った日時が、画面に照会時間として表示されます。
※オーディットトレイルの情報受信後に、受信結果として応答メッセージ欄にステータスと メッセージが表示されます。

# 3. 詳細表示

- ・オーディットトレイル照会画面上の [詳細] ボタンの選択により、画面上に一覧表示しているデータの 詳細を詳細情報画面に表示します。
- A)詳細情報画面で初期表示の対象になるデータは、一覧表示で現在選択されている行のデータです。
   ※詳細情報画面上の [次データ] ボタンのクリックにより、一覧表示の次のデータを表示します。
   ※詳細情報画面上の [前データ] ボタンのクリックにより、一覧表示の前のデータを表示します。
   ※一覧表示されていない状態での詳細情報表示はできません。

操作メニューオーティットトレイ	ル協会			
詳細情報				194-4
発信元;	0999 09995E1	送信日時:	18/08/06 11:24:52	-
レコードタイプ:	自分宛てに送信	受信/削除日時:	18/08/06 11:28:25	817-9
相手先:	0999 0999SE1	送信終了日時:	18/08/06 11:24:53	戻る
ステータスフラグ:	受信済	送信13外终了日時:	18/08/06 11:24:53	
ステータス記述:	受信済	転送終了日時:	18/08/06 11:24:53	
<b>削除理由コード:</b>	0	受信期始日時:	18/08/06 11:28:24	
削除理由記述:	0	受信終了日時:	18/08/05 11:28:25	
二997年-ム:		受信13州终了日時:	18/08/06 11:28:25	
メッセージ識別子:	OKAWWA02			
保管照会+:				

B)詳細情報画面を終了したい場合は、マウスで画面上の [戻る] ボタンのクリックにより終了を行います。

# 4. 画面を終了したい時

・画面を終了したい場合は、マウスで画面上の [閉じる] ボタンのクリックにより終了を行います。

# 2. 3.3 状況確認照会

メニュー 状況確認照会							
					照会時間: 2018/	02/27 16:46:40	昭会
蓄積日時	発信元	宛先	クラス	メッセージ種類	配布日時	レコード件数 ^	AN ZX
8/01/25 17:19:08	O999O999U01	09990999001	普通	ユーサ ー・メッセーシー			詳細
3/01/25 17:19:08	O999O999U01	09990999001	普通	ユーザー・メッセーシー			
8/01/25 17:19:24	O999O999U01	09990999002	普通	1-サ*-・メッセーシ*			閉じる
8/01/25 17:19:41	O999O999U01	09990999003	普通	ユーサ* ー・メッセーシ*			
8/01/25 17:19:56	O999O999U01	09990999004	普通	ユーザ・ー・メッセーシャ			
8/01/25 17:20:12	O999O999U01	09990999005	普通	ユーサペー・メッセーシー			
8/01/29 09:50:35	O999O999U01	09990999001	普通	ユーサペー・メッセーシー			
8/01/29 09:50:35	O999O999U01	09990999001	普通	ユーサ ー・メッセーシ			
8/01/29 09:50:35	O999O999U01	O999O999U01	普通	ユーザ メッセーシ *	18/01/29 09:51:06		
8/01/29 09:50:35	O999O999U01	09990999001	普通	ユーザ・ー・メッセーシャ	18/01/29 09:51:06		
8/01/29 15:36:13	O999O999U01	09990999001	普通	ユーザ・ー・メッセーシ・			
8/01/29 15:36:13	09990999001	09990999001	普通	ユーザ・ー・メッセーシ			
8/01/29 15:36:13	O999O999U01	09990999001	普通	ユーザ・ー・メッセーシャ	18/01/29 15:36:58		
8/01/29 15:36:13	09990999001	09990999001	普通	ユーザ* ー・メッセーシ*	18/01/29 15:36:58		
8/01/29 15:38:41	O999O999U01	09990999001	普通	1-サ*-・メッセーシ*			
8/01/29 15:38:41	O999O999U01	O999O999U01	普通	ユーザ・ー・メッセーシ・		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
8/01/29 16:27:23	09990999001	09990999001	普通	ユーザー・メッセーシー			
8/01/29 16:27:23	09990999001	09990999001	普通	ユーサキー・メッセーシャ			
8/01/30 13:44:30	O999O999U01	O999O999U01	普通	ユーザ*ー・メッセーシ*			
8/01/30 13:44:30	O999O999U01	O999O999U01	普通	ユーサ* ー・メッセーシ*	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	~	
						>	

#### 【機能概要】

・送受信を行ったファイル及び受信の対象となるファイルの状況を DIEX(汎用)に問い合わせを行い、 問い合わせ結果を画面上に一覧表示します。

・照会を行う条件の指定はありません。

・照会を行えるのは、DIEX(汎用)に対してのみで、u-DIEX(汎用)のファイルの状況は照会できません。

#### 【運用手順】

①照会指示を行い、送受信を行ったファイル、及び受信の対象となるファイルの状況を画面上に一覧表示します。②問い合わせ結果が応答メッセージに表示されます。

#### 【操作説明】

・入力項目、及び選択項目についての指定方法を説明します。

# 1. 一覧表示の照会指示

DIEX(汎用)に対して、送受信を行ったファイル及び受信の対象となるファイルの状況問い合わせを行います。

送受信ファイルの状況を表示する場合、[照会]ボタンのクリックにより行います。

※問い合わせを行った日時が、画面に照会時間として表示されます。

※ファイル状況情報受信後に、受信結果として応答メッセージ欄にステータスとメッセージが表示されます。

# 2. 詳細表示

[詳細表示] ボタンのクリックにより、詳細情報画面に遷移し、一覧表示されているデータの内容を 確認できます。

操作メニュー状況確認照会       詳細情報     207       蓄積日時:     18/01/25 17:19:08       発信元:     0990099001       3CL規約コード:     第2       発信元:     0990099001       状況確認確想:     第着       起動区分:     1-9* 記動       EXI5-音号:     0180       方元:     第週       メッセージ区分:     インフォイトカ:       パイト数:     00000       メッセージ規例子:     TESTDIEX       メッセージ:     1メオージ* 3 がた+マジ 4	操作メニュー 状況確認報会 詳細情報 蓄積日時: 18/01/25 17:19:08 配布日時: 発信元: 09990999001 JCL識別コード: 宛先: 0999099001 状況確認種類: 到着 起動区分: 1-ザー起動 EXI5-番号: 0180 クラス: 普通 メッセージ区分: 473x4-33 メッセージ区分: 473x4-33 メッセージ運動子: TESTDIEX レコード件試: 00000 メッセージ運動子: TESTDIEX パイト数: 0000102 メッセージ: 1メッセージ すりたい シャン・	次データ 前テータ 戻る
詳細情報     版布日時:     次デ       発信元:     0999099001     ジニ(規約)ード:       発信元:     0990099001     状況確認確顯:     到着       起影区分:     1-ザー起動     EXエラー番号:     0180       クラス:     普通     メッセージ区分:     インオト・33       メッセージ規例子:     TESTDIEX     パイト数:     0000102       メッセージ:     1メサーン* 3 がたけ ジジタ・     メッセージに、     ジェージ・	詳細情報	次データ 前データ 戻る
語項目時: 18/01/25 17:19:08         発信元: 0990099001         JCL展別コード:         発信元: 0990099001         状況確認慣題: 到着         定動区分: 1-ザー起動         を知動         クラス: 普通         メッセージ区分: パクオーション         メッセージ区分: パクオーション         メッセージ区分: パクオーション         メッセージ取別子: TESTDIEX         パイト数: 0000102         メッセージ: 1メッセージ: 1×回		八丁一9   前データ   戻る
発信元:     0990099001     JCL規則コード:     第77       充先:     0990099001     状況確認確算:     到着       起動区分:     1-ザー起動     EXI5ー書号:     0180       クラズ:     普通     メッセージ区分:     インホナー33       メッセージ運算:     1-ザー・パナージ*     レコード件数:     00000       メッセージ     15TDIEX     パイト数:     0000102       メッセージ:     15オヒージ*3 弁びたドラびき。	発信元:     0990999001     JCL識別コード:       宛先:     0990999001     状況確認種類:     到着       起動区分:     1-ザー起動     EXエラー番号:     0180       クラス:     普通     メッセージ区分:     クフォーション       メッセージ運動:     1-ザ・・ケット・ン*     レコード件数:     00000       メッセージ:     1メッセージ・メッセージ・メッセージ:     バイト数:     0000102       メッセージ:     1メッセージ:     1メッセージ:     パイト数:	前 <u>ア</u> -9 戻る
売先:     0999099001     状況確認優算: 影着     反       起動区分:     1-ザー起動     EXI5一番号:     0180       クラス:     普通     メッセージ区分:     インホレーション       メッセージ運算:     1-ザー・パセーシ*     レコード件数:     00000       メッセージ環題)?:     TESTDIEX     パイト数:     0000102       メッセージ:     1メッセージ ? チ チウヒt シマンウ .	宛先:     0999099001     状況確認種類:     到着       起動区分:     1-9*-起動     EXI5-一番号:     0180       クラス:     普通     メッセージ区分:     クフルトラ3>       メッセージ運動:     1-9*-メッセージ     レコード件数:     00000       メッセージ環動子:     TESTDIEX     パイト数:     0000102       メッセージ:     1メッセージ:     1メッセージ:     1メッセージ:	戻る
記載区分: 1-ザー記載 EXI5-番号: 0180 クラス: 普通 メッセージ区分: 4/フォメーション メッセージ種類: 1-ザー・メッセージ* レコード件数: 00000 メッセージ環想分: TESTDIEX パイト数: 0000102 メッセージ: 1メッセージ* ヲ チウヒキ シスシタ 。	起動区分: 1-ザー起動 EXI5-番号: 0180 クラス: 普通 メッセージ区分: クフルション メッセージ種類: 1-ザー・メッセージ メッセージ種類: 1-ザー・メッセージ メッセージ類別子: TESTDIEX パイト数: 0000102 メッセージ: 1メッセージ ヲ チウヒキ ンマンタ 。	
クラス: 普通     メッセージ区分: インフォトーjョン       メッセージ種類: 1-ザ'-・メゥヒーシ*     レコード件数: 000000       メッセージ類別子: TESTDIEX     バイト数: 0000102       メッセージ: 1メッtーシ* ヲ チウヒキ シマシタ 。	クラス: 普通     メッセージ区分: インフォメ→ョン       メッセージ種類: 1-ザー・メッtージ*     レコード件数: 00000       メッセージ環則子: TESTDIEX     バイト数: 0000102       メッセージ: 1メッtージ* ヲ fクtキ シマンタ 。	
メッセージ種類: 1-ザ'-・メッセージ     レコード件数: 000000       メッセージ類別子: TESTDIEX     バイト数: 0000102       メッセージ: 1メッセージ 3 チウヒキ シマシタ 。	メッセージ種類: 1-9*>* レコード件数: 00000 メッセージ類別子: TESTDIEX バイト数: 0000102 メッセージ: 1メッセージ: チゲロキ >マクタ.	
メッセージ環例子: TESTDIEX パイト数: 0000102 メッセージ: 1メッセージ ヲ チウヒキ シマンタ 。	メッセージ現例子: TESTDIEX パイト数: 0000102 メッセージ: 1メッセージ: チガロキッマック	
አቃτΕ−ジ: 1.አቃτ−ジ ヲ Fንτ‡ ን₹ንታ .	メクセージ: 1メカセージ ヲ Ŧクセキ シマンク 。	

A)詳細情報画面で初期表示の対象になるデータは、一覧表示で現在選択されている行のデータです。
※詳細情報画面上の [次データ] ボタンのクリックにより、一覧表示の次のデータを表示します。
※詳細情報画面上の [前データ] ボタンのクリックにより、一覧表示の前のデータを表示します。
※一覧表示されていない状態で、 [詳細表示] ボタンはクリックできません。

B)詳細情報画面を終了したい場合は、 [戻る] ボタンをクリックします。

# 3. 画面を終了したい時

状況確認照会画面を終了したい場合は、[閉じる]ボタンをクリックします。

# 2.4 設定(共通)

# 2. 4.1 メッセージマスタ設定

イン ツール ヘルプ											
キメニュー メッセージマスタ設定	2										
命索条件											
メッヤージ識別子:											検索
										[	登録
									<b>縣更新日</b> :	2019/06/12 13:03:30	NUTRA
メッセージ識別子	ファイルコード	フォーマット	有効長	拡張子	圧縮	暗号化	コード変換	保存期間	ヘッダー作成	最終更新日 ^	削除
TEV006N	FTEV006N	TNS拡張形式		TXT	有	有	有	1	無	2010/04/14 11:13:4	変更
TNS001H	T1H	TNS形式	2	TXT	無	無	無	1	有	2009/12/21 10:41:0	
TNS001N	T1N	TNS形式	100	TXT	無	無	無	1	無	2009/12/21 10:40:0	
TNS002H	Т	TNS形式	91	TXT	無	無	無	1	有	2009/12/21 10:41:4	
TNS002N	T2N	TNS形式	100	TXT	無	無	有	1	無	2019/06/12 13:03:2	閉じる
TNS003H	T3H	TNS形式	91	TXT	無	無	無	1	有	2009/12/22 11:17:2	
TNS004H	T4H	TNS形式	91	TXT	無	無	有	1	有	2009/12/22 11:17:3	
TNS005H	T5H	TNS形式	250	TXT	無	無	無	1	有	2009/12/21 10:43:0	
TNSVAZ1	VAZ1	TNS拡張形式	1000	txt	無	無	有	1	有	2019/01/11 13:58:4	
APLFREE		自由形式		TXT	無	無	無	3	無	2019/02/13 11:14:0	
APLT1F	T1F	TNS形式	195	TXT	無	無	無	1	無	2019/02/15 13:15:0	
APLTEF1	TEF1	TNS拡張形式	200	txt	無	無	無	1	無	2018/12/05 17:26:5	
APLTEF2	TEF2	TNS拡張形式	976	txt	無	無	無	1	無	2018/12/10 17:26:5	
APLTEF3	TEF3	TNS拡張形式	200	TXT	無	無	無	1	無	2018/12/13 10:43:0	
ESTZZZ	ZZZ	TNS形式	55	APL	無	無	無	1	無	2018/11/30 13:54:1	
EXT010M		自由形式		txt	無	無	無	10	無	2019/04/18 17:58:5	
		自由形式		txt	無	無	無	10	無	2019/04/18 11:43:5	
EXT200M		ata - t- 10/-0		tect	dan	111	無	10	無	2010/04/08 12:27:5	

#### 【機能概要】

・メッセージマスタの照会を行い、結果の一覧表示を行います。

・メッセージマスタのメンテナンス(登録・削除・変更・更新)作業を行います。

#### 【運用手順】

①検索条件の指定を行い、メッセージマスタのデータを一覧表示します。

- ②メンテナンス作業(登録・削除・変更)を行います。
- ③メンテナンス内容を、メッセージマスタに反映します。
  - ※メッセージマスタに登録済みのデータを削除する場合、更新処理を行った時点でメッセージマスタに 反映されると共に、削除したデータに関連する情報がシステム内より削除されます。
  - ※メッセージマスタに登録済みのデータを変更する場合、メッセージ識別子を変更すると 変更前のメッセージ識別子は、削除処理を行われたデータと同様に扱われ、 更新処理を行った時に関連する情報がシステム内より削除されます。

#### 【操作説明】

・入力項目、および選択項目についての指定方法を説明します。

#### 1. 一覧表示の検索条件指定

メッセージマスタに登録済みのデータを画面上に一覧表示する場合に、指定を行います。

 A)メッセージ識別子は、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※検索条件に入力されたメッセージ識別子の文字列と、メッセージマスタに登録されている メッセージ識別子の先頭より、文字列が一致するデータだけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

#### 2. 一覧表示の検索指示

メッセージマスタに登録済みのデータを画面上に一覧表示する場合に行います。

A)指定済みの検索条件で登録済みのデータを表示する場合、 [検索] ボタンのクリックにより、
 検索を開始して一覧表示を行います。
 ※新規登録の場合、一覧表示を行わずに作業を行うことができます。
 ※一覧表示は、メッセージ識別子の昇順に表示されます。

#### 3.新規登録

新規にデータを作成してメッセージマスタに登録する場合に行います。

🚺 T D C 通信パッケージ KENSHO [:0999552@UDCOM]	- 0	×
メイン ツール ヘルプ		
操作メニュー メッセージマスク設定		
メッセージ清報 メッセージ清報 (*):	登	録
アプリケーションフォーマット: 〇 TNS形式 <sup>®</sup> TNS拡張形式 〇 標準形式 〇 自由形式	戻	3
ファイルコード:		
アプリケーション有効長:		
ファイルタイプ拡張子(*):		
保存期間(*): (日)		
コード変換: ◉ しない ○ する		
圧縮: ● しない ○ する (DIEX授受のみ有効)		
暗号化: ◉ しない ○ する (DIEX授受のみ有効)		
ヘッダー作成: ● しない ○ する		
KENSHO [:0999SE2@UDCOM]		

- ・新規にデータを作成し登録する場合は、メッセージマスタ設定画面にて、 [登録] ボタンのクリックにより 登録画面に遷移します。
- ・登録画面で新規データの入力後、 [登録] ボタンのクリックにより、 一覧表示の最終行に入力したデータが 追加されます。
- <設定項目>

項目	説明
メッセージ識別子	ファイルの送受信を行う時の識別子を設定します。
	※1~8 文字で設定を行います。
	※半角英数字のみ入力可能です。
	※英文字は大文字のみ入力可能です。
アプリケーションフォーマット	送受信を行うファイルの形式を、「TNS形式」「TNS拡張形式」
	「標準形式」「自由形式」から設定します。
	※TNS 形式は、TNS 標準形式とも呼ばれます。また、
	標準形式は、TDC 標準形式とも呼ばれます。
	TNS 標準形式とTDC 標準形式で名称は類似しておりますが、
	フォーマットは全く異なりますのでご注意ください。
	尚、TDC 標準形式を設定することは特別な場合を除いて
	ほとんどありません。

ファイルコード	アプリケーションフォーマットが「TNS形式」「TNS拡張形式」の
	場合に使用する、送受信ファイル名に付加される文字列(ファイル
	コード)を設定します。
	※「TNS形式」の時は 1~3 文字で設定します。
	※「TNS拡張形式」の時は1~8文字で設定します。
	※半角英数字のみ入力可能です。
	※英文字は大文字のみ入力可能です。
アプリケーション有効長	アプリケーションが使用するデータ長を設定し、アプリケーションフォーマットが
	「TNS形式」「TNS拡張形式」の場合のみ設定します。
	※「TNS形式」の時は 2~250 の範囲で設定します。
	※「TNS拡張形式」の時は7~1000の範囲、
	もしくはブランク(未入力)で設定します。
ファイルタイプ拡張子	ファイルの拡張子を設定します。
	※1~3 文字で設定を行います。
	※ファイル送信を行う時に、送信ファイル名に拡張子を
	指定された場合はファイル名の拡張子が優先されます。
	※ファイル受信では、受信ファイルのファイル名の拡張子部分となります。
保存期間	ファイルの送受信を行った時に、送信ファイル及び受信ファイルを
	システム内に保管する日数を設定します。
	※ファイルの保存期間を1~30日の範囲で設定します。
	1~99 日の範囲で設定は可能ですが、仕様上は
	最大 30 日までとなります。
コード変換	ファイルの送受信を行った時に、送信ファイル、および受信ファイル内の
	文字コードを変換するか選択により設定します。
	※アプリケーションフォーマットが「自由形式」の場合は、設定できません。
	※選択肢として変換「する」「しない」の2通りから設定します。
	※コード変換の指定が「する」に設定されている場合は、
	EBCDIC コードと ASCII コードの変換が行われます。
	※全角文字コードの変換は行いません。
圧縮	ファイルの送信を行った時に送信ファイルの圧縮を行うか選択により
	設定します。
	※u-DIEX(汎用) とファイルの送受信を行う場合は、本設定は
	無効となります。アプリケーション形式が「TNS 形式」「TNS 拡張
	形式」の場合は設定内容に関わらず、常に圧縮・復元が行われます。
	※アプリケーションフォーマットが「TNS拡張形式」、
	または「標準形式」の場合のみ設定します。
	※選択肢として「する」「しない」の2通りから設定します。
	※ファイル送信の際にファイルに圧縮されていることを表す情報が
	設定されるため、受信側での復元はそれより判断して行われます。

暗号化	ファイルの送信を行った時に送信ファイルの暗号化を行か選択により			
	設定します。			
	※u-DIEX(汎用)上でファイルの送受信を行う場合、本設定は			
	無効となり、システム環境設定"u-DIEX"の暗号化の設定内容に			
	従います。			
	※アプリケーションフォーマットが「TNS拡張形式」、			
	または「標準形式」の場合のみ設定します。			
	※選択肢として「する」「しない」の2通りから設定します。			
	※ファイル送信の際にファイルに暗号化されていることを表す情報が			
	設定されるため、受信側での復号はそれより判断して行われます。			
ヘッダー作成	送信ファイルにヘッダー情報を作成する、及び、受信ファイルより			
	ヘッダー情報を削除する処理を行うか選択により設定を行います。			
	※アプリケーションフォーマットが「TNS形式」「TNS拡張形式」の			
	場合のみ設定します。			
	※選択肢として「する」「しない」の2通りから設定します。			

# <アプリケーションフォーマットと設定の制限>

	ファイル	アプリケーション	コード変換	圧縮	暗号化	ヘッダー
	コード	有効長		(※2)	(※3)	作成
TNS 形式	1~3 桁	2~250(※1)	可能	不可	不可	可能
※TNS 標準形式						
TNS 拡張形式	1~8 桁	7~1000(※1)	可能	可能	可能	可能
(固定長)						
TNS 拡張形式	1~8 桁	ブランク	可能	可能	可能	不可
(可変長)						
標準形式	不可	不可	可能	可能	可能	不可
※TDC 標準形式						
自由形式	不可	不可	不可	不可	不可	不可

(※1) ヘッダー作成が「しない」に設定されている場合は設定内容が無効となります。

- (※2) u-DIEX(汎用)とファイルの送受信をする場合は、設定内容が無効となります。 また、アプリケーション形式が「TNS 形式」「TNS 拡張形式」の場合は設定内容に 関わらず、常に圧縮・復元が行われます。
- (※3) u-DIEX(汎用) とファイルの送受信をする場合は、設定内容が無効となり、 システム環境設定"u-DIEX"の暗号化の設定に従います。

#### 4. 削除

メッセージマスタに登録済みのデータを削除する場合に行います。

A)データを削除する場合は、一覧表示から削除するデータを選択し [削除] ボタンをクリックします。
 ※削除する前にメッセージボックスが表示され、対象となるデータのメッセージ識別子の確認を行います。
 ※ [はい]を選択した場合は画面より削除を行い、 [いいえ] を選択した場合はキャンセルとなります。
 ※メッセージマスタに登録済みのデータを削除する場合、更新処理を行った時点で
 メッセージマスタに反映されると共に、削除したデータに関連する情報がシステム内より削除されます。

#### 5. 変更

メッセージマスタに登録済みのデータを変更する場合に行います。

↓ T D C 通信パッケージ O999SE1 [IO999SE1:	J9995E1@UDCDM]	- 🗆 X
メイン ツール ヘルプ		
操作メニュー メッセージマスタ設定		
メッセージ情報		***
メッセージ識別子(*):	TEXTFREE	致史
アプリケーションフォーマット:	○ TNS形式 ○ TNS拡張形式 ○ 標準形式 <sup>●</sup> 自由形式	戻る
ファイルコード :		
アプリケーション有効長:		
ファイルタイプ拡張子(*):	txt	
保存期間(*):	10 (日)	
□-ド変換:	●しない ○する	
圧縮:	● しない ○ する (DIEX授受のみ有効)	
暗号化:	● しない ○ する (DIEX授受のみ有効)	
ヘッダー作成:	● しない ○ する	

- A)登録済みのデータを変更する場合は、一覧表示から変更するデータを選択し、 [変更] ボタンの クリックにより変更画面に遷移します。
- B)変更画面にて、任意項目の変更を行います。
- C)変更画面で入力後、[変更] ボタンのクリックにより、一覧表示の対象行に変更後のデータが 表示されます。
- D)変更画面での入力項目、および指定項目は、【3.新規登録】と同様の指定方法となります。 ※メッセージマスタに登録済みのデータを変更する場合、メッセージ識別子を変更すると 変更前のメッセージ識別子は削除処理を行われたデータと同様に扱われ、 更新処理を行った時に関連する情報がシステム内より削除されます。
## 6. 更新

メンテナンスを行った内容をメッセージマスタに反映する場合に行います。

A)変更点(登録、変更、削除)をメッセージマスタに反映する場合は、[更新]ボタンをクリックします。
 ※メンテナンス作業(登録・削除・変更)が行われていない時は、[更新]ボタンがクリックできません。
 ※更新処理を行う場合、メッセージマスタに反映されると共に、削除したデータに関連する情報がシステム内より削除されます。

## 7. 登録画面を終了したいとき

登録画面を終了したい場合は、 [戻る] ボタンをクリックします。

## 8. 変更画面を終了したいとき

変更画面を終了したい場合は、[戻る] ボタンをクリックします。 ※変更画面で「戻る」を実行した場合、変更中の入力内容は破棄されます。

## 9. メッセージマスタ設定画面を終了したいとき

メッセージマスタ設定画面を終了したい場合は、 [閉じる] ボタンをクリックします。 ※メンテナンス作業(登録・削除・変更)が行われている場合は、メッセージボックスで メンテナンス内容を破棄して良いか確認を行います。

※ [はい]を選択した場合は破棄され、 [いいえ]を選択した場合は画面終了のキャンセルとなります。

# 2. 4.2 アドレス帳マスタ設定

作メニューノドレス帳マン					
	29設定				
検索条件					10.00
別名:					19238
ニックネーム:					登録
		(44	10名(4元)(2011)		出版
9876 .		(Al)	ND941+ (19294-0339)		HUND
				最終更新日: 2019/09/13 10:25:06	変更
別名	名	ニックネーム	宛先	最終更新日	更新
8489			0999.0999SE1	2018/11/30 14:08:10	把公(+90/5
8489002			0999.0999002	2018/04/05 13:34:45	100/JV/804
8489006			0999.0999006	2019/01/11 17:20:40	閉じる
8489SE1			0999.0999SE1	2018/03/13 09:16:51	
8489SE2			0999.0999SE2	2019/09/13 10:24:45	
8489555			0999SE1@UDCOM	2018/03/22 20:00:14	
8489U05			0999.0999U05	2019/04/18 11:44:54	

#### 【機能概要】

・アドレス帳マスタの検索を行い、結果の一覧表示を行います。

・アドレス帳マスタのメンテナンス(登録・削除・変更・更新)作業を行います。

### 【運用手順】

①検索条件の指定を行い、登録済みのアドレス帳データの一覧表示を行います。

②メンテナンス作業(登録・削除・変更)を行います。

③メンテナンス内容を、アドレス帳マスタに反映を行います。

## 【操作説明】

・入力項目及び選択項目についての指定方法を説明します。

### 1. 一覧表示の検索条件指定

アドレス帳マスタに登録済みのデータを画面上に一覧表示する場合に、指定を行います。 指定した条件を全て満たしたデータが表示の対象となります。

A)別名は、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※検索条件に入力された別名の文字列と、アドレス帳マスタに登録されている別名の先頭より、
 文字列が一致するデータだけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

B)ニックネームは、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※検索条件に入力されたニックネームの文字列と、アドレス帳マスタに登録されている
 ニックネームの先頭より、文字列が一致するデータだけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

C)宛先は、任意の文字列を入力することにより指定を行います。

※検索条件に入力された宛先の文字列と、アドレス帳マスタに登録されている宛先の先頭より、 文字列が一致するデータだけが表示対象となります。
※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

## 2. 一覧表示の検索指示

アドレス帳マスタに登録済みのデータを画面上に一覧表示する場合に行います。

A)指定済みの検索条件で登録済みのデータを表示する場合、 [検索] ボタンのクリックにより、
 検索を開始して一覧表示を行います。
 ※新規登録の場合、一覧表示を行わずに作業を行うことができます。
 ※一覧表示は、別名の昇順に表示されます。

### 3.新規登録

新規にデータを作成してアドレス帳マスタに登録する場合に行います。

TDC通信パッケー	ジ O9995E1 [IO9995E1:09995E1@UDCOM]	-		×
メイン ツール	ヘルプ			
操作メニュー アドレ	ス帳マスタ設定			
アドレス帳情報		2	04.03L	-
別名:		2	23%	-
ニックネーム:		Ł	τQ	-
宛先:				
09995E1 [I09995E1	0999SE1@UDCOM]			

新規データを作成する場合は [登録] ボタンのクリックにより、登録画面に遷移し、データの登録を行います。 登録画面にて新規データの入力後、 [登録] ボタンのクリックにより一覧表示の最終行に入力したデータが 追加されます。

<設定項目>

項目	説明
別名	・宛先及び発信元を指定する時などに、アドレスを分かりやすくする為に
	設定します。
	※1~23文字で設定を行います。
	※全角文字、半角文字全てが入力可能です。
	※英文字の大文字と小文字は区別されます。
ニックネーム	・ニックネーム送受信または、デリバリーリスト送信を行う場合に
	使用するアドレスとして設定します。
	※1~23文字で設定を行います。

	※半角英数字のみ入力可能です。
	※英文字は大文字のみ入力可能です。
	※ニックネームまたはデリバリーリストの設定は、
	固定形式('(XXXX).XXXXXXXXXXXXXXXXX/)に
	従って設定を行います。
宛先	・システムで使用する宛先の設定を行います。
	※プロセス ID の先頭 4 文字.プロセス ID7 文字
	(OXXX.OXXXYYY)で入力します。
	※1~23文字で設定を行います。
	※半角英数字のみ入力可能です。
	※英文字は大文字のみ入力可能です。
	※アドレス帳マスタから振分マスタを参照して、u-DIEX(汎用) に
	送信する場合は、参照する振分マスタのレコードと
	同じ内容の宛先を入力して下さい。

## 4. 削除

アドレス帳マスタに登録済みのデータを削除する場合に行います。

- A)データを削除する場合は、削除するデータを選択し、 [削除] ボタンをクリックします。 ※削除する前に、対象データの内容確認を行うメッセージが表示されます。
  - ※ [はい] を選択した場合は一覧表示から削除され、 [いいえ] を選択した場合は削除処理を キャンセルします。
  - ※アドレス帳マスタに登録済みのデータを削除した場合は、[更新]を行った後にアドレス帳マスタに 反映されます。

### 5. 変更

アドレス帳マスタに登録済みのデータを変更する場合に行います。

TDC通信パッケー	0 09995E1 [I09995E1:09995E1@UDCOM]	-		×
メイン ツール	ヘルプ			
操作メニュー アドレ	ス帳マスク設定			
アドレス帳情報			77: III	-
別名:	8489SE1	-	炎史	
ニックネーム:			戻る	
宛先:	0999.0999SE1			
0000551 [10000551	2000551#U02041			

A)登録済みのデータを変更する場合は一覧表示から対象データを選択し、 [変更] ボタンのクリックにより変更画面に遷移してデータの変更を行います。

B)変更画面で各項目を任意の値に変更します。

C)変更画面で入力後に [変更] ボタンのクリックにより、一覧表示の対象行のデータが変更されます。

D)変更画面の入力項目、及び指定項目は、「<u>3.新規登録</u>」と同様の指定方法となります。 ※アドレス帳マスタに登録済みのデータを変更した場合、[更新]を行った後にアドレス帳マスタに 反映されます。

## 6. 更新

メンテナンスを行った内容をアドレス帳マスタに反映する場合に行います。

A)変更点(登録・削除・変更)をアドレス帳マスタに反映する場合は、[更新]ボタンのクリックにより 反映を行います。 ※メンテナンス作業(登録・削除・変更)が行われていない時は、更新は行えません。

## 7. 振分け設定

振分けマスタ設定画面を開きます。

A) [振分け設定] ボタンのクリックにより、振分けマスタ設定画面を開きます。 ※振分けマスタ設定の詳細については、「振分けマスタ設定」の項目を参照して下さい。

## 8. 登録画面を終了する場合

[戻る] ボタンをクリックします。

## 9. 変更画面を終了する場合

[戻る] ボタンをクリックします。

※ [登録] ボタンをクリックせずに [戻る] ボタンをクリックした場合、変更内容は反映されません。

## 10. アドレス帳マスタ設定画面を終了する場合

[閉じる]ボタンをクリックします。

- ※ [更新]を行わずに閉じる場合は、メンテナンス内容を破棄して良いか確認を行います。
- ※ [はい]を選択した場合は画面を閉じ、 [いいえ]を選択した場合は留まります。

# 2.5 設定(ユーザー別)

# 2. 5.1 スケジュールマスタ設定

)全て 〇 受信 (	○送信 ○振分け受信					検索
				最終更新日:	2019/09/30 17:13:25	登録
サービス	起動スタイル	起動日時	メッセージ識別子	宛先/発信元	優先/通常	複製
受信	スポット	2019年06月12日 10:00	ITNS002N	8489SE1	優先	削除
受信	スポット	2019年06月12日 10:05	ITNS002N	*	優先	
受信	スポット	2019年06月12日 10:40	ITNS002N	*	優先	変更
受信	スポット	2019年06月12日 10:51	ITNS002N	*	優先	
受信	スポット	2019年06月12日 11:05	ITNS002N	*	優先	
受信	スポット	2019年06月12日 11:40	ITNS002N	*	優先	00.2 -
受信	スポット	2019年06月12日 13:10	ITNS002N	*	優先	闭しる
受信	スポット	2019年09月13日 11:12	TESTZZZ	*	通常	

#### o9995E1 [109995E1:09995E1@UDCOM] 【機能概要】

・スケジュールマスタの検索を行い、結果の一覧表示を行います

・スケジュールマスタのメンテナンス(登録・削除・変更・更新)作業を行います。

・スケジュールマスタは、受信・送信・振分受信の登録を行うことができます。

#### 【運用手順】

①検索条件の指定を行い、登録済みのスケジュールマスタの一覧表示を行います。

②メンテナンス作業(新規登録・削除・変更)をサービス(受信・送信・振分受信)の種類によって行います。 ③メンテナンス内容を、スケジュールマスタに反映を行います。

#### 受信スケジュール

A)受信スケジュールの情報として、起動スタイル・起動予定日時の指定を行います。
B)受信情報の指定として、メッセージ識別子・発信元・ファイルパス名・通常/優先の指定を行います。
C)受信オプションとして、ファイル統合の指定を行います。
D)登録により、一覧に表示を行います。

#### 送信スケジュール

 A)送信スケジュールの情報として、起動スタイル・起動予定日時の指定を行います。
 B)送信情報の指定として、メッセージ識別子・宛先・アプリケーション有効長・アプリケーションフォーマット・ ヘッダー作成・ファイルタイプ拡張子・ファイル名・通常/優先の指定を行います。
 C)送信オプションとして、コード変換・圧縮・暗号化の指定を行います。
 D)登録により、一覧に表示を行います。

### 振分受信スケジュール

A)振分受信スケジュールの情報として、起動スタイル・起動予定日時の指定を行います。 B)登録により、一覧に表示を行います。

## 【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

## 1. 一覧表示の検索条件指定

・スケジュールマスタに登録済みのデータを一覧表示する場合に、指定を行います。

## 2. 一覧表示の検索指示

・スケジュールマスタに登録済みのデータを一覧表示する場合に行います。

 A)指定済みの検索条件で登録済みのデータを表示する場合、 [検索] ボタンのクリックにより、検索を 開始して一覧表示を行います。
 ※新規登録の場合、一覧表示を行わずに作業を行うことができます。
 ※一覧表示は、登録順に表示されます。

## 3. 新規登録



・新規データを作成してスケジュールマスタに登録する場合に行います。

- A)新規データを作成する場合は、 [登録] ボタンにより表示されるサービス選択ダイアログで、 登録するサービスの種類を選択します。
- B)サービス選択ダイアログで [受信] ・ [送信] ・ [振分受信] のいずれかのボタンをクリックし、 各種登録画面で登録作業を行います。 [キャンセル] ボタンをクリックした場合は、 サービス選択ダイアログが閉じられます。

A)検索条件として、サービス内容の指定を行います。「全て」を指定した場合は全データが対象となり、 「送信」・「受信」・「振分受信」のいずれかを指定した場合は、指定したサービスのみが対象となります。

## 4. 受信スケジュール新規登録

🔇 T D C 通信パッケージ KENSHO [iO9995E2@UDCOM]		-		2
メイン ツール ヘルプ				
操作メニュー スケジュールマスク設定				
受信スケジュール			7947	
記動Z94川(*): 選択			登録	
起動で定日時(*): 年 月 日 時 分			戻る	
受信設定				
メッゼージ識別子(*): 選択				
発信元: 選択				
ファイルバス名(*):	選択			
ファイル統合: ④ しない 〇 する				
通常/優先: ○ 通常  ◎ 優先				
受信情報				
アプリケーション有効長:				
アプリケーションフォーマット:				
ファイルタイプ拡張子:				
□-ド変換: 圧縮: 暗号化:				

・受信スケジュールを新規に作成して、スケジュールマスタに登録する場合に行います。

A)受信スケジュール登録画面で、新規に登録する受信スケジュールデータの入力後、画面上の [登録] ボタンのクリックにより、スケジュールマスタ画面の一覧表示の最終行に入力したデータが 追加されます。

<設定項目>

## 《受信スケジュールの指定》

・スケジュールマスタによるファイル受信を行う場合の日時、または起動間隔を設定します。

項目	説明			
起動スタイル	E 起勤スタイル選択 ×			
	起動インターバル			
	OK キャンセル			
	・選択ボタンのクリックにより表示される起動スタイル選択画面で指定を			
	行います。			
	・起動スタイルには「スポット」「月次」「週次」「日次」の4種類があります。			
	・週次を指定した場合は、曜日(日・月・火・水・木・金・土)の			
	選択も行います。			
	・起動スタイルを選択後、 [OK] ボタンを押すと起動スタイルが			
	決定されます。			
	<ul> <li>「キャンセル」ボタンを押すと起動スタイル選択画面は閉じられます。</li> </ul>			
起動予定日時	・起動スタイルの指定を行った時に現在の日時が表示されます。			
	変更が必要な項目を入力により修正を行います。			
	※起動スタイルの指定により、指定可能な日時の項目が決定されます。			
	※起動スタイルが「週次」の場合、曜日の変更をしたい時は			
	再度起動スタイル選択画面で指定を行います。			

※起動スタイルが「スポット」の場合、現在の日時より過去を 指定するとスケジュールマスタに反映した直後に起動されます。

#### <起動スタイルの説明と指定項目>

起動スタイル	説明	指定項目
スポット	指定した日時(年月日時分)に一度だけ起動され、	年·月·日·時·分
	以降起動されることはありません。	
月次	毎月一度、指定した日時(日時分)に起動されます。	日·時·分
週次	毎週一度、指定した曜日の時間(時分)に起動されます。	時·分·曜日
日次	毎日一度、指定した時間(時分)に起動されます。	時·分

#### 《受信設定の指定》

・受信するファイルの情報として、ファイルパス名の指定を行います。受信したファイルは指定したパスの ディレクトリ内に保管されます。

項目	説明
メッセージ識別子	<ul> <li>・任意の入力、または選択ボタンのクリックにより表示される メッセージ識別子選択画面で指定を行います。</li> <li>・メッセージ識別子選択画面では、マウスでのダブルクリック、 または Enter キーで対象の確定を行います。</li> </ul>
光泪儿	○ 別名畫訳 ×           8489           8489002           8489006           8489555           8489005
	・任意の入力、または[選択]ボタンのクリックにより表示される
	別名選択画面で指定を行います。
	・別名選択画面では、マウスでのダブルクリック、または Enter キーで
	対象の確定を行います。
	・未人力の場合は、全ての発信元が対象となります。
	・直接人力して指定する場合は、アドレス帳マスタに設定した
	別名・ニックネーム・宛先のいずれも指定可能です。

ファイルパス名	<ul> <li>・任意の入力、または [選択] ボタンのクリックにより表示される ファイルパス選択画面で指定を行います。</li> <li>・ファイルパス選択画面では、マウスでのダブルクリック、 または Enter キーで対象の確定を行います。</li> <li>・ファイルパス名を入力した時は、終端文字として円記号(¥)を 付加して下さい。</li> <li>・指定したフォルダパスが存在しない場合は、起動された時に ディレクトリの自動作成は行わずにエラーとなります。</li> </ul>
ファイル統合	・受信の対象となるファイルが複数存在した場合に、複数のファイルを 1 つのファイルに統合「する」「しない」の指定を行います。
	・ノアイル統合9る場合は、一度の受信指示で 受信したファイル全てが1つのファイルとして作成されます。
通常/優先	・受信指示を行った時にファイル受信の通常と同様に受信を行うか、 または、優先的に受信を行うかの指定を行います。

## 《受信情報の指定》

・「受信情報」の各項目は、メッセージ識別子を選択した際にメッセージマスタより自動で表示されるため、 入力はできません。

## 5.送信スケジュール新規登録

<ul> <li>I. D. G.W. (M. A. A.</li></ul>	- 🗆 X
メイン ツール ヘルプ	
操作メニュー スケジュールマスタ設定	
送信スケジュール	74.47
起動スタイル(*): 選択	登録
起動予定日時(*):	戻る
送信設定	
メッセージ識別子(*): 選択	
宛先: 選択	
ファイル名(*):	選択
通常/優先: ○ 通常 ● 優先	
送信情報	
アプリケーション有効長:	
フォーマット: ● TNS形式 ○ TNS拡張形式 ○ 標準形式 ○ 自由形式	
ヘッダー作成: ● しない ○ する	
ファイルタイプ拡張子(*):	
コード変換: ◉ しない ○ する	
⊐−ド変換: ® しない ○ する 圧縮: ® しない ○ する	
コード変換: ⑧ しない 〇 する 圧縮: ⑨ しない 〇 する 暗号化: ⑨ しない 〇 する	

・送信スケジュールを新規に作成してスケジュールマスタに登録する場合に行います。

A)送信スケジュール登録画面で、新規に登録する送信スケジュールデータの入力後、画面上の [登録] ボタンのクリックにより、 スケジュールマスタ設定画面の一覧表示の最終行に登録された データが追加されます。

## <設定項目>

## 《送信スケジュールの指定》

項目	説明
起動スタイル	・スケジュールマスタによるファイル送信を行う場合の日付、
	または起動間隔を設定します。
起動予定日時	・送信スケジュールの設定は、【 <u>4.受信スケジュール新規登録</u> 】の
	設定項目で受信スケジュールの指定と同様に指定を行います。

## 《送信設定の指定》

・送信先の情報として、送信するファイルのメッセージ識別子と宛先の指定を行います。

・「送信情報」の各項目は、メッセージ識別子を選択した時に、メッセージマスタの該当する項目より

項目	説明
メッセージ識別子	・任意の入力、または [選択] ボタンのクリックにより表示される メッセージ識別子選択画面で指定を行います。 メッセージ識別子選択画面では、マウスでのダブルクリック、 または Enter キーで対象の確定を行います。
宛先	<ul> <li>・任意の入力、または [選択] ボタンのクリックにより表示される</li> <li>別名選択画面で指定を行います。別名選択画面では、</li> <li>マウスでのダブルクリック、または Enter キーで対象の確定を行います。</li> <li>・直接入力して指定する場合は、アドレス帳マスタに設定した</li> <li>別名・ニックネーム・宛先のいずれも指定可能です。</li> </ul>
ファイル名	<ul> <li>・任意の入力、または [選択] ボタンのクリックにより表示される ファイル選択画面で指定を行います。</li> <li>・ファイル選択画面でディレクトリの選択は、マウスでのクリック、 またはカーソルキーで対象のディレクトリの選択を行うことができます。</li> <li>・選択されたディレクトリに格納されているファイル名は、一覧として 表示され、ファイル名は、ファイル名は、一覧として</li> </ul>

デフォルト値が表示されます。

	対象とするファイルの確定を行います。 ※ファイル名の拡張子を省略するとファイルタイプ拡張子で指定した 拡張子がデフォルトとして使用され、送信ファイル名が作成されます。
通常/優先	・送信指示を行った時にファイル送信の通常と同様に送信を行うか、
	優先的に送信を行うかの指定を行います。

## 《送信情報の指定》

・送信情報の指定では、ファイルを送信する時に行う処理の指定を行います。

登録されているメッセージマスタの情報が表示されます。

項目	説明
アプリケーション有効長	・アプリケーションフォーマットの指定が「TNS形式」
	「TNS拡張形式」の場合のみ指定可能です。
	・「TNS形式」の時は 2~250 バイトで指定を行います。
	・「TNS拡張形式」の時は 7~1000 バイト、
	もしくはブランク(未入力)で指定を行います。
フォーマット	・「TNS形式」「TNS拡張形式」「標準形式」「自由形式」の
	4 通りのフォーマットより選択して指定を行います。
ヘッダー作成	・アプリケーションフォーマットの指定が「TNS形式」
	「TNS拡張形式」の場合のみ指定可能です。
	・フォーマット変換を「する」「しない」の指定を行います。
ファイルタイプ拡張子	・送信ファイルの拡張子を指定します。
	※ファイル名に拡張子が指定されている場合は、ファイル名の拡張子が
	優先となります。
コード変換	・送信するファイルのコード変換を「する」「しない」の指定を
	行います。
圧縮	・送信するファイルの圧縮を「する」「しない」の指定を行います。
	・u-DIEX(汎用)に送信する場合は、本設定は無効となります。
	・アプリケーション形式が「TNS 形式」「TNS 拡張形式」の場合は、
	設定内容に関わらず常にファイルが圧縮されます。
暗号化	・送信するファイルの暗号化を「する」「しない」の指定を行います
	・u-DIEX(汎用)に送信する場合は、本設定は無効となり、
	システム環境設定"u-DIEX"の暗号化の設定内容に従います。

<sup>・</sup>送信情報のコード変換・圧縮・暗号化は、メッセージ識別子を指定した時点でシステム内に

## 6. 振分け受信スケジュール新規登録

↓ T D C 通信パッケージ Osea5E1 [IOSea5E1:09995E1:00DCOM]	- 🗆 X
メイン ツール ヘルプ	
泉作メニュー スケジュールマスタ設定	
振分け受信スケジュール	音録
起動スタイル(*): 選択	
起動予定目時(*): 年 月 日 時 分	庆 o

・振分け受信スケジュールを新規に作成してスケジュールマスタに登録する場合に行います。

A)振分けスケジュール登録画面で、新規に登録する送信スケジュールデータの入力後、 [登録] ボタンのクリックにより、一覧表示の最終行に入力したデータが追加されます。

<設定項目>

## 《振分け受信スケジュールの指定》

項目	説明
起動スタイル	・スケジュールマスタによる振分け受信を行う場合の日付、または
	起動間隔を設定します。
起動予定日時	・振分け受信スケジュールの設定は、【 <u>4.受信スケジュール新規登録</u> 】
	の設定項目で受信スケジュールの指定と同様に指定を行います。

## 7. 削除

・スケジュールマスタに登録済みのデータを削除する場合に行います。

- A)登録済みのデータを削除する場合は、一覧表示から削除するデータを選択し、 [削除] ボタンを クリックします。
  - ※削除する前にメッセージボックスを表示して確認を行います。
  - ※ [はい] を選択した場合は画面より削除を行い、 [いいえ] を選択した場合は削除の キャンセルとなります。
  - ※登録済みのデータを削除する場合、 [更新] ボタンをクリックしたときにスケジュールマスタに 反映されます。

## 8. 変更

■受信スケジュール画面イメージ

Q TOC#8/(n/t-9	- u x
KIN CH	
操作メニュー システム管理メニュー システム起動・停止 スケジュールマスタ設定	
受信スケジュール	610
記載スタイル(*): スポット 選択	1224
起動予定日時(*): 2018年 08月 11日 15時 54分	戻る
受信設定	
约也——Si跟别子(*): TEXTTEST 選択	
発信元: * 選択	
フバイルパス名(*): C:¥Users¥km3487e¥Documents	選択
ファイル統合: ④しない ○する	
通常/優先: 〇 通常 🔹 優先	
受信情報	
アプリケーション有効長: 0	
アプリケーションフォーマット: 自由形式	
ファイルタイプ拡張子: bxt	
□-F変換:無 圧縮:無 暗号化:無	
DwwsEi ()OssesEi i OwesE (@UDCDM)	

## ■送信スケジュール画面イメージ

① TDC通信パッケージ		-		×
メイン ヘルプ				
操作メニュー スケジュールマスタ語	Bre			
送信スケジュール 起動スタイル(*): 記動予定日時(*):	毎月 選択 ほうし 10 日 15 時 00 分		登録 戻る	
ALLO JALLIOU( ).		_		
送信設定 メッセージ識別子(*):	TEXTFREE 通报			
宛先:	8489SSS 選択			
ファイル名(*):	ファイル名(*): C:¥Users¥masa-seo_za¥Desktop¥TEST¥2-9_ITEF004H.bxt 選択			
通常/優先:	○ 通常 ● 優先			
送信情報				
アプリケーション有効長:	0			
フォーマット :	○ TNS形式 ○ TNS拡張形式 ○ 標準形式 ⑧ 自由形式			
ヘッダー作成:	● しない ○ する			
ファイルタイプ拡張子(*):	txt			
□ド変換:	● LAU ○ する			
圧縮:	<ul> <li>しない ○する</li> </ul>			
暗景化,				

## ■振分け受信スケジュール画面イメージ

ヘルプ  - システム管理メニュー システム記動・停止 スケジュールマス9強定 売得ったマント リ		
ー システム管理メニュー システム記動・停止 スケジュールマスタ設定		
x15// 24-1/		26.00
約スタイル(*):毎月 通択		121X
予定日時(*): 年 月 10日 16時 10分		戻る
	1	

・スケジュールマスタに登録済みのデータを変更する場合に行います。

- A)登録済みのデータを変更する場合は、一覧表示から変更するデータを選択し、 [変更] ボタンを クリックします。
  - ※変更の対象となる一覧表示のデータが受信の場合は受信スケジュール変更画面、 送信の場合は送信スケジュール変更画面、振分受信の場合は振分受信スケジュール変更画面が 表示されます。
- B)各種スケジュール変更画面で、任意の項目の変更を行います。
- C)各種スケジュール変更画面にて変更箇所の入力後、[登録] ボタンのクリックにより、 一覧表示の変更対象に変更後のデータが表示されます。
- D)受信・送信・振分け受信スケジュール変更画面での入力項目は、各画面の新規登録と 同様の指定方法となります。
- ※スケジュールマスタに登録済みのデータを変更する場合、[更新] ボタンをクリックしたときに スケジュールマスタに反映されます。

#### 9. 複製

・スケジュールマスタに登録済みのデータを複製する場合に行います。

A)登録済みのデータを複製する場合は、一覧表示から複製するデータを選択し、 [複製] ボタンを クリックします。

※複製の対象となる一覧表示のデータが受信の場合は受信スケジュール登録画面、 送信の場合は送信スケジュール登録画面、振分受信の場合は振分受信スケジュール登録画面が 表示されます。

- B)各種スケジュール登録画面で、任意の項目の変更を行います。
- C)各種スケジュール登録画面にて変更箇所の入力後、[登録] ボタンのクリックにより、一覧表示の 最終行に入力したデータが追加されます。
- D)受信・送信・振分け受信スケジュール登録画面での入力項目は、各画面の新規登録と同様の 指定方法となります。

### 10. 更新

・メンテナンスを行った内容をスケジュールマスタに反映する場合に行います。

A)メンテナンス内容をスケジュールマスタに反映する場合は、 [更新] ボタンをクリックします。 ※メンテナンス作業(登録・削除・変更)が行われていない時は、 [更新] ボタンがクリックできません。

## 11. 各種(受信・送信・振分け受信)スケジュール登録画面を終了したい時

・各種スケジュール登録画面を終了したい場合は、 [戻る] ボタンをクリックします。

## 12. 各種(受信・送信・振分け受信)スケジュール変更画面を終了したい時

・各種スケジュール登録画面を終了したい場合は、 [戻る] ボタンをクリックします。 ・スケジュールマスタ変更画面で [戻る] を実行した場合、入力中の内容は破棄されます。

## 13. スケジュールマスタ設定画面を終了したい時

- ・ [閉じる] ボタンをクリックします。
- ・メンテナンス作業が行われている場合は、メッセージボックスにて、メンテナンス内容を破棄して良いか 確認を行います。
- ・ [はい]を選択した場合は破棄され、 [いいえ]を選択した場合は画面終了のキャンセルとなります。

## 14. スケジュール変更時の留意点

・送信スケジュールの変更をする際は以下の事に注意して変更して下さい。

A)システム停止中での変更作業は行わないで下さい。(正常にマスタへ反映されません)

- B)スケジュール起動後にスケジュール変更した場合、同一ファイルを再度送信することになり、 2 重送信となる為、事前に送信ファイルを削除してスケジュールの変更を行って下さい。
  - 例)毎日 AM10:00に「ABC」ファイルを送信セットしてある場合に、AM10:30に 「AM11:00」に時刻変更を行ったとすると

1) A M 1 0 : 0 0 「 A B C 」ファイルを送信

2) A M 1 0 : 3 0 タイマーセット時刻を「A M 1 1 : 0 0」に変更

3) A M 1 1 : 0 0 「 A B C 」ファイルを送信

となってしまい、「ABC」ファイルを2度送信してしまう事になります。

# 2. 5.2 振分けマスタ設定

TDC通信	パッケージ O999SE1 [IO99	9SE1:O999SE1@UDCOM]						>
メイン ツー	-ル ヘルプ							
操作メニュー	振分けマスタ設定							
検索条件	-				7			検索
X117-3	宛先: 満別子:							登録
								削除
						最終更新日: 20	19/09/13 10:19:54	-
区分	宛先	プロセス I D	MSG識別子	開放	送信パス	開始有効日	FROM(差出人)	変更
自動 09	99.09995E1	0999SE1@UDCOM		無効	/DIEX COM/UDCOM-0999SE1/UD	2010/08/16	0999SE1	更新
								15- 削除
								閉じる
								検索結果

#### 【機能概要】

- ・振分けマスタの検索を行い、結果の一覧表示を行います。
- ・振分けマスタのメンテナンス(登録・削除・変更・更新・エラー削除)を行います。
- ・ファイル送信時に指定したアドレス帳マスタの宛先と同じ宛先を持つデータが振分けマスタに存在する場合、 その内容に基づきファイルを u-DIEX(汎用)に送信します。

#### 【運用手順】

- ①検索条件の指定を行い、登録済みの振分けデータの一覧表示を行います。
- ②メンテナンス作業(登録・削除・変更・更新・エラー削除)を行います。
- ③メンテナンス内容の振分けマスタへの反映を行います。
  - ※振分けマスタに登録済みのデータを削除する場合、更新処理を行った時に振分けマスタに反映されると共に、 削除したデータに関連する情報がシステム内より削除されます。
  - ※振分けマスタに登録済みのデータを変更する場合、宛先を変更すると変更前の宛先は削除処理を 行われたデータと同様に扱われ、更新処理を行ったときに関連する情報がシステム内より削除されます。

### 【操作説明】

・入力項目及び選択項目についての指定方法を説明します。

### 1. 一覧表示の検索条件指定

メッセージマスタに登録済みのデータを画面上に一覧表示する場合に、指定を行います。

A)宛先は、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※検索条件に入力された宛先の文字列と、メッセージマスタに登録されている宛先の先頭より、
 文字列が一致するデータだけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

 B)メッセージ識別子は、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※検索条件に入力されたメッセージ識別子の文字列と、メッセージマスタに登録されている メッセージ識別子の先頭より、文字列が一致するデータだけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

## 2. 一覧表示の検索指示

振分けマスタに登録済みのデータを画面上に一覧表示する場合に行います。

- A)指定済みの検索条件で登録済みのデータを表示する場合、 [検索] ボタンのクリックにより、
  検索を開始して一覧表示を行います。
  ※新規登録の場合、一覧表示を行わずに作業を行うことができます。
  ※一覧表示は宛先の昇順に表示されます。
  ※一覧表示には、現在ログインしているユーザーが発信元となっているデータのみが表示されます。
  (他のユーザーが発信元となっているデータを確認したい場合は、検索するユーザーで
  ログインし直してから実行して下さい。)
  - ※区分欄には、振分け情報受信時に受信した情報に基づき自動的に作成されたデータは「自動」、 自分で入力して作成したデータは「手動」と表示されます。

### 3. 新規登録

新規にデータを作成して振分けマスタに登録する場合に行います。

※振分け情報受信指示により、振分けマスタに必要な情報は自動的に登録されるため、

基本的に新規登録する必要はありません。

※ただし、振分けマスタに登録されたユーザーの宛先がアドレス帳マスタに登録されていない場合は、 アドレス帳マスタに追加して下さい。

🗘 T D C 通信パッケージ O999SE1 [IO999	95E1:O9995E1@UDCOM]		- 0	×
メイン ツール ヘルプ				
操作メニュー 振分けマスタ設定				
振分け条件			20.47	
宛先(*):		選択	登球	
プロセス I D(*):			戻る	
メッセージ識別子:	選択			
開放先指定フラグ: ④	●無効 ○ 有効			
送信パス(*): /	DIEX_COM/			
開始有効日: ④	●設定しない ○設定する	2019/10/01		
0000551 [10000551:0000551/01100	IMO			

A)新規にデータを作成し登録する場合は、[登録]ボタンのクリックにより登録画面に遷移します。
 B)登録画面で各項目の入力後、[登録]ボタンのクリックにより、一覧表示の最終行に
 入力したデータが追加されます。

<設定項目>	
項目	説明
宛先	
	<ul> <li>u-DIEX(汎用)上の送信したい相手の宛先を指定します。</li> <li>※任意の入力、また選択ボタンのクリックにより表示される宛先選択 画面で指定を行います。</li> <li>※宛先選択画面では、マウスのダブルクリック、または Enter キーで 対象の確定を行います。</li> <li>※宛先はアドレス帳マスタに登録されている宛先の中から選択して 下さい。</li> </ul>
プロセス ID	送信先のユーザーのプロセス ID を指定します。 ※英文字は大文字と小文字が区別されます。 ※宛先に送信先のユーザーのプロセス ID を設定した場合は、 プロセス ID に同じ値を入力してください。
メッセージ識別子	<ul> <li>▲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>
開放先指定フラグ	送信ファイルの開放先を指定します。 ※有効・無効を選択します。 ※通常は無効を選択して下さい。
送信パス	振分け対象データの u-DIEX(汎用)の送信パスを指定します。 ※存在しないパス、またはアクセス権のないパスを指定した場合、 送信時にエラーとなります。

開始有効日	振分けデータが有効となる開始日を指定します。
	※開始有効日がシステムの日付と同じ、又はそれ以前のデータのみ
	設定内容が有効となります。
	※開始有効日を指定しない場合は、システムの日付に関係なく
	常に有効となります。

#### 4. 削除

振分けマスタに登録済みのデータを削除する場合に行います。

A)登録済みのデータを削除する場合は、一覧表示から削除するデータを選択し、

[削除]ボタンをクリックします。

- ※削除する前にメッセージボックスが表示され、対象となるデータの内容を確認します。
  - ([はい]を選択した場合は画面より削除を行い、[いいえ]を選択した場合は削除の キャンセルとなります。)
- ※振分けマスタに登録済みのデータを削除する場合、更新処理を行った時に振分けマスタに 反映されます。

#### 5. 変更

995E1:O9995E1@UDCOM]		>
		亦而
0999.0999SE1	選択	ar -
0999SE1@UDCOM		戻る
選択		
● 無効 ○ 有効		
/DIEX_COM/UDCOM-0999SE1/UDCOM-0	0999SE1	
○ 設定しない ◎ 設定する 2010/05	8/16 💷-	
- Hardwall Hardwall Immund	0999.09995E1 09995E1@UDCOM	0999.09995E1 09995E1@UDCOM ● 第効 0 有効 /DIEX_COM/UDCOM-09995E1/UDCOM-09995E1 ● 設定しない ● 設定する 2010/08/16 =-

振分けマスタに登録済みのデータを変更する場合に行います。

A)登録済みのデータを変更する場合は、[変更]ボタンのクリックにより変更画面に遷移します。

B)変更画面で、任意の項目の変更を行います。

※振分けマスタ変更画面での入力項目及び指定項目は、【<u>3.新規登録</u>】と 同様の指定方法となります。

C)変更箇所入力完了後、[登録] ボタンのクリックにより、一覧表示の変更対象行に 変更後のデータが表示されます。

※振分けマスタに登録済みのデータを変更する場合、更新処理を行った時に振分けマスタに反映されます。
 ※「自動」データは、開放先指定フラグのみ変更可能です。
 ※エラーデータは全ての項目が変更不可です。

## 6. エラー削除

振分け情報受信時に発生したエラーデータを削除します。

- A)エラーデータを削除する場合は、 [エラー削除] ボタンをクリックします。
  - ※削除する前にメッセージボックスが表示され、確認を行います。
    - ([はい]を選択した場合、エラーデータは全て画面より削除され、
    - [いいえ]を選択した場合は、エラー削除のキャンセルとなります。)
  - ※エラー削除を行った場合、更新処理を行った時に振分けマスタに反映されます。
  - ※振分け情報受信時に振分け情報と同じ手動データが存在した場合、手動データが優先され、

振分け情報データはエラーとなり、無効データとなります。

# 2.6 その他

# 2. 6.1 転送結果検索

MART	1.00						検索
ッセージ識別子:		選択					ex-om
発信元/宛先:			選択				計相
198845 (m) .			10/05 00:00 E-	○ \#±			閉じる
WINDERL( .).	LINDBAL 2019/10	2013/	10/05 00.00 @	~ 21A		6.G	
2種別							
312/m (m) > /m	□ <b>-</b> =						
	レ エフー (ナエック	7無しは主ての結果を表示)					
40 = 17 0+		<i>3% /≕</i> −	唐井 小圣堂		**ZD#	7- 67	
指示日時	メッセージ識別子	発信元	優先/通常	ド	終了日時	ステータス	
指示日時 019/10/02 09:16:14	メッセージ識別子 *	発信元 *	優先/通常 優先	コマンド 蓄積状況	終了日時 2019/10/02 09:16:21	ステータス 000-000	
指示日時 019/10/02 09:16:14 019/10/02 09:15:49	メッセージ識別子 * TAPLTEF1	発信元 * 84895E1	優先/通常 優先 優先	コマンド 蓄積状況 送信	終了日時 2019/10/02 09:16:21 2019/10/02 09:15:52	ステータス 000-000 000-000	
指示日時 19/10/02 09:16:14 19/10/02 09:15:49 19/10/02 09:14:14	メッセージ識別子 * TAPLTEF1 TAPLTEF1	発信元 * 8489SE1 8489SE1	優先/通常 優先 優先 優先	コマンド 蓄積状況 送信 送信	終了日時 2019/10/02 09:16:21 2019/10/02 09:15:52 2019/10/02 09:14:17	ステータス 000-000 000-000 000-000	
指示日時 19/10/02 09:16:14 019/10/02 09:15:49 019/10/02 09:14:14 019/10/02 09:13:44	メッセージ識別子 * TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1	発信元 * 8489SE1 8489SE1 8489SE1	優先/通常 優先 優先 優先 優先	コマンド 蓄積状況 送信 送信 送信	終了日時 2019/10/02 09:16:21 2019/10/02 09:15:52 2019/10/02 09:14:17 2019/10/02 09:13:47	ステータス 000-000 000-000 000-000 000-000	
指示日時 019/10/02 09:16:14 019/10/02 09:15:49 019/10/02 09:14:14 019/10/02 09:13:44 019/10/02 09:11:40	メッセージ識別子 * TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1	発信元 * 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1	優先/通常 優先 優先 優先 優先 優先	コマンド 蓄積状況 送信 送信 送信 送信	終了日時 2019/10/02 09:16:21 2019/10/02 09:15:52 2019/10/02 09:14:17 2019/10/02 09:13:47 2019/10/02 09:12:26	ステータス 000-000 000-000 000-000 000-000 000-000	
指示日時 19/10/02 09:15:14 19/10/02 09:15:49 19/10/02 09:13:44 19/10/02 09:13:44 119/10/02 09:11:40	メッセージ識別子 * TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1	発信元 * 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1	優先/通常 優先 優先 優先 優先 優先 優先 優先 優先 優先 優先	コマンド 蓄積状況 送信 送信 送信 送信 状況確認	終了日時 2019/10/02 09:16:21 2019/10/02 09:15:52 2019/10/02 09:14:17 2019/10/02 09:13:47 2019/10/02 09:12:26 2019/10/02 09:12:10	ステータス 000-000 000-000 000-000 000-000 000-000 901-000	
指示日時 19/10/02 09:16:14 19/10/02 09:15:49 19/10/02 09:13:44 19/10/02 09:11:40 19/10/02 09:11:35 19/10/02 09:08:25	メッセージ識別子 * TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1	発信元 * 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1	優先/通常 優先 優先 優先 優先 優先 優先 優先 優先 優先 優先	コマンド 蓄 長 状況 送信 送信 送信 状況確認 送信	総了日時 2019/10/02 09:16:21 2019/10/02 09:15:52 2019/10/02 09:14:17 2019/10/02 09:13:47 2019/10/02 09:12:26 2019/10/02 09:12:10 2019/10/02 09:82:5	ステータス 000-000 000-000 000-000 000-000 000-000 901-000 140-022	
指示日時 19/10/02 09:16:14 119/10/02 09:15:49 119/10/02 09:14:14 119/10/02 09:11:40 119/10/02 09:11:30 119/10/02 09:08:25 119/10/02 09:06:32	メッセージ識別子 * TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1	発信元 * 8489SE1 8489SE1 8489SE1 8489SE1 8489SE1 8489SE1	優先/通常 優先 優先 優先 優先 優先 優先 優先 優先 優先	コマンド 蓄積状況 送信 送信 送信 送信 <del>送信</del> <del>送信 送信 送信 送信 送信 ( ) 送信 ( ) 送 に ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (</del>	総了日時 2019/10/02 09:16:21 2019/10/02 09:15:52 2019/10/02 09:13:47 2019/10/02 09:13:47 2019/10/02 09:12:26 2019/10/02 09:12:10 2019/10/02 09:08:25 2019/10/02 09:06:32	<i>⊼∓</i> − <i>9X</i> 000-000 000-000 000-000 000-000 901-000 140-022 140-022	
指示日時 19/10/02 09:15:14 19/10/02 09:15:49 19/10/02 09:13:44 19/10/02 09:13:44 19/10/02 09:11:40 19/10/02 09:01:135 19/10/02 09:06:32 19/10/02 09:05:10	メッセージ識別子 * TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1	発信元 * 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1	<ul> <li>(優先/通常)</li> <li>(優先)</li> </ul>	コマンド 蓄積状況 送信	総了日時 2019/10/02 09:16:21 2019/10/02 09:15:52 2019/10/02 09:15:17 2019/10/02 09:13:17 2019/10/02 09:13:47 2019/10/02 09:12:10 2019/10/02 09:08:25 2019/10/02 09:06:32 2019/10/02 09:05:10	ステータス 000-000 000-000 000-000 000-000 901-000 140-022 140-022 140-022	
指示日時 119/10/02 09:15:49 119/10/02 09:15:49 119/10/02 09:13:44 119/10/02 09:13:44 119/10/02 09:11:40 119/10/02 09:08:25 119/10/02 09:06:32 119/10/02 09:05:10 119/10/02 16:05:10	メッセージ識別子 * TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 TAPLTEF1 *	発信元 * 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1 84895E1	<ul> <li>優先/通常</li> <li>優先</li> </ul>	コマンド           蓄積状況           送信           送信           送信           状況確認           送信	総7日時 2019/10/02 09:16:21 2019/10/02 09:15:22 2019/10/02 09:15:25 2019/10/02 09:12:47 2019/10/02 09:12:26 2019/10/02 09:12:26 2019/10/02 09:06:32 2019/10/02 09:06:32 2019/10/02 09:06:510 2019/10/10 16:06:03	λ7−9λ 000-000 000-000 000-000 000-000 901-000 140-022 140-022 140-022 000-000	

#### 【機能概要】

・転送制御口グ情報の検索を行い、結果の一覧表示を行います。

・検索条件は、メッセージ識別子・発信元/宛先・日付・要求種別の指定で行います。

#### 【運用手順】

①検索条件の指定を行い、転送制御口グ情報の一覧表示を行います。

#### 【操作説明】

・入力項目及び選択項目についての指定方法を説明します。

### 1. 一覧表示の検索条件指定

転送制御ログ情報を画面上に一覧表示する為の検索条件は、メッセージ識別子・発信元/宛先・ 日付・要求種別で指定を行います。指定した条件を全て満たした転送指示が表示の対象となります。

A)メッセージ識別子は、任意の入力又は [選択] ボタンのクリックにより表示されるメッセージ識別子選択
 ダイアログから選択します。メッセージ識別子選択ダイアログでは、マウスでのダブルクリック、
 または Enter キーで対象の確定を行います。
 ※メッセージ識別子の一致する転送指示が表示の対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。



B)発信元/宛先は、任意の入力、または [選択] ボタンのクリックにより表示される別名選択ダイアログから 選択します。別名選択ダイアログでは、マウスでのクリック、または Enter キーで対象の確定を行います。 ※発信元又は宛先で一致する情報が表示の対象となります。 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

8489	
8489002	
8489006	
8489SE1	
8489555	
8489U05	

C)日付指定は、以下の3通りの方法より指定が可能です。

- a)検索対象期間の開始日時・終了日時の指定による検索 開始日時と終了日時の指定を行い、その間に行われた転送指示が表示の対象となります。 ※初期表示は、開始日時は当日の0:00、終了日時は翌日の0:00 が表示されます。
- b)現在より過去の日数による検索

現在から過去の日数の指定を行い、その間に行われた転送指示が表示の対象となります。 ※入力可能な日数は1~999日です。

c)現在より過去の時間数による検索

現在から過去の時間数の指定を行い、その間に行われた転送指示が表示の対象となります。 ※入力可能な時間数は1~999時間です。

D)要求種別は、任意の指定でチェックした項目を検索の対象とします。 チェックの組み合わせにより検索対象が決定します。

受信	送信	エラー	条件
無	無	無	全ての結果が対象
チェック	無	無	受信結果・受信エラーが対象
無	チェック	無	送信結果・送信エラーが対象
無	無	チェック	全てのエラーが対象
チェック	チェック	無	受信・送信結果、受信・送信エラーが対象
チェック	無	チェック	受信エラーのみが対象
無	チェック	チェック	送信エラーのみが対象
チェック	チェック	チェック	送信・受信のエラーが対象

<要求種別の指定による検索条件>

## 2. 一覧表示の検索指示

指定済みの検索条件で過去に行った転送情報を画面上に一覧表示する場合に指示を行います。

A) [検索] ボタンのクリックにより、検索を開始して一覧表示を行います。
 ※一覧表示された転送情報に対して、マウスでのダブルクリック、または Enter キーにより、
 応答メッセージを確認できます。

## 3. 詳細指示

[詳細] ボタンのクリックにより、詳細情報画面に遷移し、一覧表示している転送情報の内容を 確認できます。

x12 y-ル ヘルノ 操作x二1- 転送結果検索 詳細情報 処理シーケンス: @\$A2' 指示日付: 2019/	9FnD 同期/非问 10/02 豕	到期: 同期	A P L 有効長:	200	次データ
詳細情報 処理シーケンス: @\$A2 指示日付: 2019/	9FnD 同期/非同 10/02	可期: 同期	A P L有効長:	200	次データ
処理シーケンス: @\$A2' 指示日付: 2019/	9FnD 同期/非同 10/02 3	司期: 同期	APL有効長:	200	次データ
指示日付: 2019/	10/02 3	and a second second second second			
		<sup>包</sup> 先: 0999.0999SE1	データ件数:	2	前データ
指示時間: 09:15	:49	别名: 8489SE1	: אכדב	送信	ファイル詳細
メッセージ識別子: TAPLT	EF1 E	王縮: 無	ステータス:	000-000	戻る
ファイルタイプ: TNS	拡張形式 暗聲	号化: 無	終了日付:	2019/10/02	
ファイル拡張子: snd	3-13	£换: 無	終了時刻:	09:15:52	
優先/通常: 優先	ファイル#	充合:無			
送信ファイル名: C:¥TDC	CAPL¥DATA¥SEND¥TA01TEF1.snd	1.			
処置メッセージ:					
ファイル件数: 1					

A)詳細情報画面で初期表示の対象になるデータは、一覧表示で現在選択されている行のデータです

- ※ [次データ] ボタンのクリックにより、一覧表示の次のデータを表示します。
- ※ [前データ] ボタンのクリックにより、一覧表示の前のデータを表示します。

※一覧表示されていない状態では、 [詳細] ボタンをクリックできません。

B)詳細情報画面を終了したい場合は、 [戻る] ボタンをクリックします。

### 4. 転送結果検索画面を終了したい時

転送結果検索画面を終了したい場合は、[閉じる]ボタンをクリックします。

# 2. 6.2 システムログ検索

y-11 ~11)					
ニュー システムログ検索					
8条件					
	2010/10/04 00:0		0/10/05 00:00 回* 0 過去	□ ○ 湯夫 時間	模索
	2019/10/04 00.0	0 8 1 10 201	19/10/05 00:00		閉じる
発生日時	シーケンスNo.	ステータスコード	メインプログラムID	サブプログラムID ^	
2019/10/04 14:31:02	0001	006-000	EDIJOB01	main	
2019/10/04 14:31:02	0001	012-000	EDIDEX01	main	
2019/10/04 14:31:02	0001	004-000	EDIFTP01	main	
2019/10/04 14:31:02	0001	003-000	EDISER01	main	
2019/10/04 14:31:02	0001	003-000	EDISER01	main	
2019/10/04 14:31:02	0001	003-000	EDISER01	main	
2019/10/04 14:31:02	0001	003-000	EDISER01	main	
2019/10/04 14:31:02	0001	003-000	EDISER01	main	
2019/10/04 14:31:02	0001	003-000	EDISER01	main	
2019/10/04 14:31:01	0001	002-000	EDILOG01	main	
2019/10/04 14:31:01	0001	001-000	EDISYS01	main	
2019/10/04 14:31:01	0001	020-000	EDISTART	edisms_main	
2019/10/04 14:28:06	0001	002-000	EDILOG01	main	
2019/10/04 14:28:06	0002	002-000	EDILOG01	edilog01_del1	
2019/10/04 14:28:06	0001	002-000	EDILOG01	edilog01_del1	
2019/10/04 14:28:05	0002	001-000	EDISYS01	main	
2019/10/04 14:28:00	0002	003-000	EDISER01	main	
2019/10/04 14:27:58	0002	003-000	EDISER01	main	
2019/10/04 14:27:55	0002	003-000	EDISER01	main	
2019/10/04 14:27:53	0002	003-000	EDISER01	main	榆索

#### 【機能概要】

・システムログ情報の検索を行い、結果の一覧表示を行います。

・検索条件は、日時の指定で行います。

### 【運用手順】

①検索条件の指定を行い、システムログ情報の一覧表示を行います。

### 【操作説明】

・入力項目及び選択項目についての指定方法を説明します。

### 1. 一覧表示の検索条件指定

・システムログ情報を画面上に一覧表示する為の検索条件は、日付指定で行います。 ・日付指定は、以下の3通りの方法より指定が可能です。

A)開始日時・終了日時の指定による検索 開始日時及び終了日時を指定することにより、その間に該当するシステムログ情報が 表示の対象となります。 ※初期表示は、開始日時は当日の0:00、終了日時は翌日の0:00が表示されます。

B)現在より過去の時間数による検索

現在から、過去の時間数を指定することにより、その間に該当するシステムログ情報が 表示の対象となります。入力可能な時間数は 1~999 時間です。

C)現在より過去の日数による検索

現在から、過去の日数を指定することにより、その間に該当するシステムログ情報が 表示の対象となります。入力可能な日数は1~999日です。

## 2. 一覧表示の検索指示

- ・指定済みの検索条件でシステムログ情報を表示する場合、マウスでシステムログ検索画面上の [検索]ボタンのクリックにより、検索を開始して一覧表示を行います。
- ・表示されているシステムログ情報に対して、一覧上にあるデータ行の任意の場所をマウスで ダブルクリック 又は Enter キーでステータスの情報を表示することができます。

## 3. 画面を終了したい時

・システムログ検索画面を終了したい場合は、マウスで画面上の [閉じる] ボタンのクリックにより 終了を行います。

# 2. 6.3 システム監視

					検索時間: 2019/1	0/04 14:44:34	
ユーザー	プロセス名称	起動状態	起動/停止日時	接続状態	接続開始日時	受付可能件数	フロセス情報
	EDISYS01	起動中	2019/10/04 14:44:24	ロク* オフ			処理要求情
	EDILOG01	起動中	2019/10/04 14:44:24	ロク*オフ		8	
999002	EDISER01	起動中	2019/10/04 14:44:24	ロク*オフ		1	
999301	EDISER01	起動中	2019/10/04 14:44:25	ロク°オフ		1	
999FAX	EDISER01	起動中	2019/10/04 14:44:25	ログ*オフ		1	閉じる
999001	EDISER01	起動中	2019/10/04 14:44:25	ロク* オフ		1	
999SE1	EDISER01	起動中	2019/10/04 14:44:25	ロク*オフ		1	
999U05	EDISER01	起動中	2019/10/04 14:44:25	ロク*オフ		1	
	EDIFTP01	起動中	2019/10/04 14:44:25	ロク*オフ		15	
	EDIDEX01	起動中	2019/10/04 14:44:25	ロク <sup>*</sup> オフ		30	
	EDIJOB01	起動中	2019/10/04 14:44:25	ロク*オフ		600	

### 【機能概要】

・システムのプロセス情報及び処理要求情報を問い合わせ、結果の一覧表示を行います。

・問い合わせの種類(プロセス情報又は処理要求情報)により、一覧表示内容の変更を行います。

## 【運用手順】

①プロセス情報 又は 処理要求情報の指定を行い、問い合わせ結果の一覧表示を行います。

## 【操作説明】

・選択項目についての指定方法を説明します。

## 1. プロセス情報一覧表示の検索指示

- ・システムのプロセス情報を表示する場合、マウスでシステム監視画面上の「プロセス情報」ボタンの クリックにより、問い合わせを開始し一覧表示を行います。
  ※問い合わせの結果を、画面上に一覧表示をします。その時に、参照時間と 表示モード(プロセス情報)の表示も行います。
- ※プロセス情報の取得完了後に、取得結果を画面下部の応答メッセージにステータスと

メッセージが表示されます。

## 2. 処理要求情報一覧表示の検索指示

・システムの処理要求情報を表示する場合、マウスでシステム監視画面上の [処理要求情報] ボタンの クリックにより、問い合わせを開始して一覧表示を行います。

※問い合わせの結果を、画面上に一覧表示します。その時に、参照時間と

表示モード(処理要求情報)の表示も行います。

※プロセス情報の取得完了後に、取得結果として画面下部の応答メッセージにステータスと メッセージが表示されます。

理要求消费物					检索	6間: 2018	/02/27 16:00:2	0
7-17-	指示目時	要求種別	処理シーケンス	処理状況 コード	同期/非同期	×92-57	817	ラ プロセス内報
IEX1	2018/02/27 16:00:17	蓄枯状況 住況確認	#2RC0017	0401	同期後優先			処理要求情報
CAT.	2010/02/27 10:00:19	(ACCHENC)	142K00019	0104	FURD IN 19275			8半細
								用じる

## 3. 処理要求情報の詳細表示

・システム監視画面上の [詳細表示] ボタンのクリックにより、画面上に一覧表示しているデータの詳細を 詳細情報画面(別画面)に表示します。

XY2 AND				
操作メニューシステム監視				
詳細情報				次データ
7-9-1D:	DIEX1	同期/非同期:	同期多位先	
処理シーケンス:	#2RG0017	ファイルタイプ:		- HU - 9
规理状况 <sub>二一</sub> F:	蓄積状況	ファイル拡張子:		展る
指示目付:	2018/02/27	<b>片版</b> :	無	
処理時間:	16:00:17	暗号化:	無	
メッセージ識別子;	*	□-ド変換:	1E	
苑光:	*	A P L 有効is:		
別名:	×	デー9件数:		
優先順位:	<b>硕先</b> 4			

・詳細情報画面で初期表示の対象になるデータは、一覧表示で現在選択されている行のデータです。 [次データ] ボタンのクリックにより、一覧表示の次のデータを表示します。[前データ] ボタンの クリックにより一覧表示の前のデータを表示します。

※一覧表示されていない状態での詳細情報表示は不可となります。

・詳細情報画面を終了したい場合は、マウスで画面上の[戻る]ボタンのクリックにより終了を行います。

## 4. 画面を終了したい時

・システム監視画面を終了したい場合は、マウスで画面上の [閉じる] ボタンのクリックにより終了を行います。

## 2. 6.4 要求取り消し

A / / / / / /	蓄積昭会 要求取り消し						
					検索時間:	2019/10/04 15:05:40	
亜 皮 取り消し	指示日時	重心辅助	処理シーケンフ	処理状況コード	同期/非同期	1017-21勝別子	検索
SCICAL SING	2019/10/04 15:05:35	蓄積状況	#A4F0534	0104	同期&優先	*	取り消し
							詳細
							閉じる

#### 【機能概要】

・処理要求の情報を問い合わせ、結果の一覧表示を行います。

・要求取り消しの対象とする処理要求を指定し、取り消しの指示を行います。

### 【運用手順】

①処理要求の情報を問い合わせ、現在蓄積されている要求の一覧表示を行います。

②問い合わせ結果が応答メッセージに表示されます。

③一覧表示された処理要求より、要求取り消しの対象とする要求の指定を行います。(複数指定可)

④取り消し指示結果が、一覧表示の要求取り消しの欄に表示されます。

### 【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

### 1. 一覧表示の検索指示

・処理要求情報を表示する場合、マウスでの [検索] ボタンのクリックにより、問い合わせを開始して 一覧表示を行います。 ※問い合わせの結果を、画面上に一覧表示します。その時に、検索時間の表示も行います。

※プロセス情報の取得完了後に、取得結果として応答メッセージにステータスとメッセージが 表示されます。

### 2. 要求取り消しの指定

・要求取り消しの指定は、蓄積されている処理要求を表示した画面上の一覧表示より選択により行います。

A)指定の方法は、処理要求表示の一覧より、要求取り消しを行う処理要求データ行の
 要求取り消しの欄をマウスでダブルクリックし、指定を行います。
 要求取り消しの欄に、Y、が表示されている処理要求が要求取り消しの対象となります。
 ※指定済みで、Y、が表示されている処理要求を、再度指定することにより指定のキャンセルとなります。

## 3. 要求取り消し指示

・要求取り消しを指示したい場合は、マウスでの [取り消し] ボタンのクリックにより行います。 ※要求取り消しの完了後に、要求取り消し指示結果として一覧表示の要求取り消しの欄に ステータスが表示されます。

### 4. 詳細指示

- ・ [詳細表示] ボタンの選択により、画面上に一覧表示している転送情報の詳細を詳細情報画面に 表示します。
- ・詳細情報画面で初期表示の対象になるデータは、一覧表示で現在選択されている行のデータです。
- ※ [次データ] ボタンのクリックにより、次のデータが存在する場合は一覧表示の次のデータを表示します。
- ※ [前データ] ボタンのクリックにより、前のデータが存在する場合は一覧表示の前のデータを表示します。
- ※一覧表示されていない状態での詳細情報表示はできません。

同期/非同期:	同期。每年	Second as
同期/非同期:	同雄。原先	they are be
同期/非同期:	回期9. 画件	Street as
同期/非同期:	同期 9. 應件	
	IN DOUBE / L	バナーラ
ファイルタイプ:	()	前データ
ファイル拡張子:		戻る
圧縮:	無	
暗号化:	無	
コード変換:	無	
A P L 有効長:		
デ-9件数:		
	ファイル拡張子: 圧端: 暗号化: コード変換: APL有効長: デールた数:	77-1ル拡張子: 圧隆: 無 暗号化: 無 コード変換: 無 A P L 有効表:

## 5. 詳細情報画面を終了したい時

・詳細情報画面を終了したい場合は、マウスで [戻る] ボタンのクリックにより終了を行います。

## 6. 要求取り消し画面を終了したい時

・要求取り消し画面を終了したい場合は、マウスで [閉じる] ボタンのクリックにより終了を行います。

# 2. 6.5 エラーコード一覧

12 2 10			
作メニューセン	/9-蓄積照会 エフーコード一覧		
検索条件		1	
エラーコード	754	l	梗案
			閉じる
エラーコード	エラーメッセージ	想定される原因 ^	
754-052	データ線ソケットのソケット作成に失敗しました	ハードウエア, 電話回線またはネットワーク, ゲートウェイサーバーを確認して下さい。	
754-053	デーウ線ソケットのアドレス割付に失敗しました	ハードウエア, 電話回線またはネットワーク, ゲートウェイサーバーを確認して下さい。	
754-058	データ線ソケットの接続許可準備に失敗しました	ハードウエア, 電話回線またはネットワーワ, ゲートウェイサーバーを確認して下さい。	
754-05A	デ <sup>*</sup> -9線ソケットに接続してきたゲートウェイのソケット情報の取出し処理で異常が発生しました。(ローカル)	ハードウエア, 電話回線またはネットワーク, ゲートワェイサーバーを確認して下さい。	
754-05B	データ線ソケットでのソケット受信処理で異常が発生しました	ハードウエア, 電話回線またはネットワーク, ゲートウェイサーバーを確認して下さい。	
754-05C	データ線ソケットでのソケット送信処理で異常が発生しました	ハードウエア, 電話回線またはネットワーワ, ゲートウェイサーバーを確認して下さい。	
754-05F	データ線ソケットの受信処理で、ケ゚ートウェイからのデータ受信を一定時間待ったが、受 信出来ませんでした。(ネットワーク)	ハードウエア, 電話回線またはネットワーワ, ゲートワェイサーパーを確認して下さい。	
754-102	データ線ソケットを作成する為のル゚ートNaの検索処理で異常が発生しました	ハードウエア,電話回線またはネットワーク, ゲートウェイサーバーを確認して下さい。	
754-103	データ線ソケットを作成する為のアドレス情報の検索処理で異常が発生しました	ハードウエア, 電話回線またはネットワーク, ゲートウェイサーバーを確認して下さい。	
754-104	転送データを保存するためのワークファイルの作成で異常が発生しました。(受信処理 系)	システムまたはハードウエアに障害が発生。システムまたは端末を再起動して下さい。	
754-105	指定時間待ったが、ゲートりェイがデータ線ソケットへの接続処理を行わないので処理を 中断しました。(ネットワーク)	パート、ウエア,電話回線またはネャットワーり, ゲートウェイサーバーを確認して下さい。	
754-106	ゲートウェイへ転送する送信ファイルからのデータ読込処理で異常が発生しました	システムまたはハードウエアに障害が発生。システムまたは端末を再起動して下さい。	
754-107	が、トウェイからの受信予定データと実受信データのレングスがアンマッチです。(受信処理 系)(ネットワーク)	ハードウエア,電話回線またはネットワーク, ゲートウェイサーパーを確認して下さい。	

09995E1 [I09995E1:09995E1@UDCOM]

#### 【機能概要】

・エラーコードからエラーメッセージ、想定される原因を表示します。

#### 【運用手順】

①エラーコードを条件に一覧を検索します。

#### 【操作説明】

・検索条件に検索対象のエラーコードを入力します。

#### 1. 検索

・検索条件に指定されたエラーコードを前方一致で検索します。
 ※未入力の場合はエラーコードを全件表示します。
 ※エラーコードは、"XXX-XXX"の形式です。

## 2. 画面を終了したい時

・エラーコード一覧画面を終了したい場合は、マウスで画面上の [閉じる] ボタンのクリックにより 終了を行います。

2. 7	ב י	ーザー	切替
		-	

🚯 T D C 通信パッケージ O9995E1 [IO9995E1:O9995E1@UDCOM]	×
メイン ツール ヘルプ	
操作メニュー ユーザー切替	
ログオンユーザー情報	+T185
利用者名称:	
新利用者名称(*): 選択	閉じる

#### 【機能概要】

・システムを使用する利用者の指定を選択により行います。

#### 【運用手順】

①画面起動時に、現在設定されている利用者名称が画面に表示されます。

②新利用者の選択後、変更を行います。

※システム内では利用者毎に情報が管理されます。他の端末と利用者が重複しない様に選択を行って下さい。

#### 【操作説明】

・選択項目の指定方法を説明します。

#### 1. 新利用者名称指定

・新利用者は、ユーザー切替画面上の選択ボタンの押下により表示される利用者名称選択画面で 指定を行います。

・利用者名称選択画面では、マウスでのダブルクリック 又は Enter キーの押下で利用者の確定を行います。

🚺 利用者名称選択	×
0999SE2	^
0999002	
0999301	
0999FAX	
0999001	
O999YSD	
0999SE1	
O999U05	~
11	

#### 2. 変更

・新利用者名称の欄に指定した利用者でシステムのログオンユーザー情報の変更を指示する場合は、 マウスでの [切替] ボタンをクリックします。

※以降は変更後の利用者で指示が行われます。

### 3. ユーザー切替画面を終了したい時

・ユーザー切替画面を終了したい場合は、マウスでの [閉じる] ボタンをクリックします。

# 3. システム管理メニュー \*1 つ いっままパッナ つ いかがま 100 mst 1

### 【機能概要】

・システムの起動/停止、ユーザー登録、システム環境の設定など、システムに関係する各機能を選択します。

## 【運用手順】

①実施する機能を押下します。

②システム管理メニューを終了する場合は、 [閉じる] を押下します。

## 【操作説明】

- システム運用
  - ◆システム起動・停止

・TDC 通信パッケージのシステム起動、システム停止を手動で行います。

◆パスワード設定

・u-DIEX(汎用)ユーザーの本パスワード登録を行います。

◆振分け情報受信

・u-DIEX(汎用)より振分け情報を受信し振分けマスタに反映します。

- 環境設定
  - ◆システム環境設定

・TDC 通信パッケージの各種システム環境設定を管理します。

- ◆ユーザー登録
  - ・TDC 通信パッケージを利用するユーザー情報を管理します。
- 閉じる

・システム管理メニューを閉じます。

# 3.1 システム運用

# 3. 1.1 システム起動・停止

🗘 T D C 通信パッケージ O999SE1 [IO999SE1:O999SE1@UDCOM]		
メイン ツール ヘルプ		
作メニューシステム管理メニューシステム起動・停止		
[サービス起動]ボタンでシステムをサービスとして起動します。	♥サービス起動	
※ネットワークドライブを利用しない場合は「サービス起動」を選択		
「ローカル起動」ボタンでシステムをローカルで起動します。	♥□−カル記動	
※ネットワークドライブを利用する場合は「ローカル起動」を選択		
「停止」ポタンプシステムを停止します	<sup>愈</sup> 停止	
CFEI NO CON MEFECCES	* IT IL	
キャンセルする時は、[閉じる]ボタンを選択してください。	閉じる	

#### 【機能概要】

・システムを手動で起動・停止します。

※TDC 通信パッケージでのファイル送受信を行うための各種常駐プロセスを起動、停止します。 ※システムの自動起動を設定している場合は、端末の起動時にここで起動を行う必要はありません。

### 【運用手順】

①システム(コントローラープロセス)の起動を行います。
 ②システム(コントローラープロセス)の停止を行います。

### 【操作説明】

・システムの運用を行う際、通常は最初にシステムの起動を行います。

### A)サービス起動

・システムを Windows サービスとして起動します。

- ・送信するファイルの存在するフォルダや受信先に指定しているフォルダがネットワーク上でない場合は、 基本的には、こちらの起動方法となります。
- ※端末のシャットダウン時にシステムが起動されたままだった場合は、自動的にシステム停止が 行われます。但し、Windows にログインしているユーザーがサインアウトしてもシステム停止は 行われません。

B)ローカル起動

・システムをWindowsにログインしているユーザーのプロセスとして起動します。

- ・送信するファイルの存在するフォルダや受信先に指定しているフォルダがネットワーク上で ある場合は、こちらの起動方法でなければなりません。
- ※端末のシャットダウン時にシステムが起動されたままだった場合は、自動的にシステム停止が 行われます。また、Windows にログインしているユーザーがサインアウトした場合も、

自動的にシステム停止が行われます。

・システムの運用を終了する際、最後にシステムの停止を行います。 ※システム停止後、再度運用を行う場合はシステム起動を行って下さい。

## 1. システムのサービス起動

・ [サービス起動] ボタンのクリックにより行います。 ※システム起動の完了時に、起動結果としてメッセージボックスが表示されます。

x76 7					^
	システムのま	起動処理が	完了到	なしました。	
				OK	

※システムが起動されている状態で、再度起動処理を行うとエラーとなります。

## 2. システムのローカル起動

・ [ローカル起動] ボタンのクリックにより行います。

※システム起動の完了時に、起動結果としてメッセージボックスが表示されます。

			~
رہ 🚺	マテムの起動処況	星が完了致しる	Eした。

※システムが起動されている状態で、再度起動処理を行うとエラーとなります。

## 3. システムの停止

・ [停止] ボタンのクリックにより行います。 ※システム停止の完了時に、停止結果としてメッセージボックスが表示されます。



# 3. 1.2 パスワード設定

↓ T D C 通信パッケージ O9995E1 [IO9995E1@UDCOM]	- 🗆 X
メイン ツール ヘルプ	
操作メニュー システム管理メニュー パスワード設定	
u-DIEX パスワード情報	変更指示
利用者名称: 09999SE1 ~	閉じる
プロセスID: 0999SE1@UDCOM	
仮パスワード(*):	
本/(スワード(*):	
プロセス固有情報(*): 選択	
応答メッセージ:	
9995E1 [109995E1:09995E1@UDCOM]	

## 【機能概要】

- ・u-DIEX(汎用)ユーザー登録後の初起動時にのみ 仮パスワードと本パスワード、プロセス固有情報を指定し、 設定します。
- ・設定後 u-DIEX パスワードの変更はできません。
- ※u-DIEX パスワード未設定の状態で、u-DIEX(汎用)の機能は使用できません。
- ※変更指示が正常に行われると以降は変更後のパスワード(本パスワード)が使用されます。
- ※u-DIEX パスワードは、初回設定時に設定が行われると、以降パスワードの変更はできません。
  - パスワードを打ち間違えたり、登録したパスワードを忘れたりすることのないようにご注意ください。

## 【運用手順】

- ①パスワード設定では、u-DIEX(汎用)センターと通信を行いますので、システム起動していない場合は、 システム起動します。
- ②画面起動時に、全 u-DIEX(汎用)ユーザーの利用者名称が画面に表示されます。
- ③利用者名称を選択後、u-DIEX(汎用)の仮パスワード・本パスワードを入力し、プロセス固有情報の設定を 行います。
- ④変更指示を行います。
#### 【操作説明】

・指定方法を説明します。

## 1. パスワード変更指示

・パスワード設定画面で、仮パスワード、本パスワード、プロセス固有情報の入力後、画面上の [変更指示] ボタンのクリックにより、u-DIEX(汎用)センターに設定した本パスワードが 送られ登録されます。

<設定項目>

## 《u-DIEX パスワード情報》

項目	説明
利用者名称	・パスワード設定する利用者を指定します。
	・利用者を変更する場合は、右の[▼]をクリックし、
	登録されている全 u-DIEX(汎用)ユーザーの利用者名称より
	選択します。
	※名称の直接入力は不可です。
プロセス ID	・プロセス ID は、現在選択している利用者名称のプロセス ID を
	表示します。
仮パスワード	・仮パスワードは、開始案内で通知された仮パスワードを入力します。
	※入力文字は画面上ではアスタリスク(*)で表示されます。
	※英文字の入力は大文字と小文字が区別されます。
	※端末移行などで新端末に設定する場合は、旧端末で既に
	パスワード登録済ですので、 開始案内で通知された
	仮パスワードではなく、設定済みの本パスワードを
	仮パスワードに入力します。
本パスワード	・本パスワードは、任意の入力により指定を行います。
	※入力文字は画面上ではアスタリスク(*)で表示されます。
	※英文字の入力は大文字と小文字が区別されます。
プロセス固有情報	・プロセス固有情報は、パスワード設定画面上の [選択] ボタンの
	押下により表示されるファイル選択画面から、プロセス固有情報
	ファイルの選択を行います。
	※入力文字は画面上ではアスタリスク(*)で表示されます。

#### 2. 画面を終了したい時

・パスワード設定画面を終了したい場合は、マウスでパスワード設定画面上の [閉じる] ボタン クリックにより終了を行います。

※ユーザー登録で u-DIEX(汎用) 利用の登録が完了していても、パスワードを設定するまでは、 u-DIEX(汎用)の機能を使用することはできません。使用前に必ずパスワード設定を行ってください。

## 3. 1.3 振分け情報受信

▶ T D C 通信パッケージ O9995E1 [IO9995E1:O9995E1@UDCOM]	- 0	×
メイン ツール ヘルプ		
操作メニュー システム管理メニュー 振分け情報受信		
[受信]ポタンで振分け情報を受信します。	受信	
前回受信した情報も再受信したい場合は、「強制受信」ボタンを選択してください。	強制受信	
キャンセルするときは、[閉じる]ボタンを選択してください。	閉じる	
応答メッセージ:		
95E1 [109995E1:09995E1@UDCOM]		

#### 【機能概要】

・u-DIEX(汎用)より振分け情報を受信し、受信した振分け情報を振分けマスタに反映します。

#### 【運用手順】

・①u-DIEX(汎用)にアップロードされている振分け情報を受信・反映します。

#### 【操作説明】

・登録されているユーザーの振分け情報をu-DIEX(汎用)から受信します。

#### 1. 受信

・現在登録されているユーザーの振分け情報を受信する場合は、振分け情報受信画面上の [受信] ボタンをマウスでクリックにより、振分け情報を受信します。

※システムに登録されている全ユーザーの振分け情報を一度に受信します。

※受信した振分け情報はシステム内部に保管されます。

次回受信時に内容の変更がない場合は、u-DIEX(汎用)から受信せず、システム内部に保管されている ファイルを反映します。

#### 2. 強制受信

・前回受信した情報を全て u-DIEX(汎用)から再受信する場合は、振分け情報受信画面上の [強制受信] ボタンをクリックにより、振分け情報を強制受信します。
※前回受信時から振分け情報の変更がない場合も u-DIEX(汎用) から情報を受信します。
※通常の振分け情報受信では、[受信]を選択してください。

#### 3. 画面を終了したい時

・振分け情報受信画面を終了したい場合は、マウスで画面上の [閉じる] ボタンのクリックにより 終了を行います。

## 3.2 環境設定

## 3. 2.1 システム環境設定

FDC通信パッケージ D999SE1 [IO999SE1:O999SE1@UDCOM]	
ショール ヘルプ	
メニュー システム管理メニュー システム環境設定	
システム共通 ダイアルアップ DIEX管理サーバー DIEXセンター u-DIEXセンター バージョン情報	
自動ログオフタイマー: 30 (秒)	更新
転送制御口グ保管日数: 30 (日)	閉じる
デフォルトニックネーム:	
受信ファイル名宛先付加: <ul> <li>OFF O ON</li> </ul>	
起動時ワークファイル確認: ● OFF ○ ON	
接続先: 〇 DIEX汎用のみ ® 両方 〇 u-DIEXのみ	
頁目説明: システム共通の環境を設定します。	

#### 【機能概要】

- ・システム環境の設定を、システム共通・ダイアルアップ・DIEX 管理サーバー・DIEX センター・ u-DIEX センターの項目に分けて設定を行います。
- ・初期表示は現在設定されている値 又は デフォルトの値が表示されます。

#### 【運用手順】

①タブで指定した各項目の設定を行います。

②設定した値を環境ファイルに反映を行います。

③更新を行った場合、システムの再起動を行ってください。

※設定を変更した場合は必ずシステムの再起動を行って下さい。再起動を行わないまま使用すると トラブルの原因となります。

#### 【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

#### 1. システム環境情報の更新

・システム環境設定画面の各設定タブにて設定値の入力後、画面上の [更新] ボタンのクリックにより、 システム環境情報の変更を行います。

## <設定項目>

# 《システム共通》

🚯 T D C 遺信パッケージ O999SE1 [IO999SE1:O999SE1@UDCOM]	- • ×
メイン ツール ヘルプ	
操作メニュー システム管理メニュー システム環境設定	
システム共通 ダイアルアップ DIEX管理サーバー DIEXセンター u-DIEXセンター バージョン情報	
自動ログオフタイマー: 30 (秒)	更新
転送制御ログ保管日数: 30 (日)	閉じる
デフォルトニックネーム:	
受信ファイル名宛先付加: <ul><li>OFF ON</li></ul>	
起動時ワークファイル確認: ● OFF ○ ON	
接続先: 〇 DIEX汎用のみ ® 両方 〇 u-DIEXのみ	
項目説明: システム共通の環境を設定します。	

Caaaper (roaaper: caaaper@nhcnie]	
項目	説明
自動ログオフタイマー	・処理要求が発生しない場合、DIEX(汎用)から自動的に
	ログオフするまでの時間を設定します。
	※設定は、30~999 秒の間で行って下さい。
転送制御ログ保管日数	・転送制御ログファイルの保管日数を設定します。
	※設定は、2~30日の間で行って下さい。
	1~99 日の範囲で設定は可能ですが、仕様上は
	最小 2 日、最大 30 日までとなります。
デフォルトニックネーム	・ニックネームで使用するデフォルト値を4文字で設定します。
受信ファイル名宛先付与	・受信したファイル名に宛先を付加するか否かを設定します。
	※デフォルトは、OFF です。
起動時ワークファイル確認	・システムの起動時にシステムのワークファイルが残っているか確認する
	処理の実行を設定します。
	※ON に設定し、システムの起動時にワークファイルが残っていた場合、
	メッセージが表示され、システムは起動されません。
	※デフォルトは OFF です。
接続先	・「DIEX 汎用のみ」「両方」「u-DIEX のみ」の中から
	使用するセンターと一致する項目を設定します。

《ダイ	アノ	レア	ッフ	°》	
-----	----	----	----	----	--

	- 🗆 X
メイン ツール ヘルプ	
操作メニュー システム管理メニュー システム環境設定	
システム共通 ダイアルアップ DIEX管理サーバー DIEXセンター u-DIEXセンター バーション情報	
ダイアルアップ接続: 〇 しない ⑥ する	更新
ユーザー名: DIAL2	閉じる
パスワード: DIAL2	
ダイアル接続名: TDC接続	
接続リトライ回数: 3	
接続9イムアウト: 60 (秒)	
項目説明: ダイアルアップ接続の接続設定ファイル名を設定します。	

O9995E1 [IO9995E1:O9995E1@UDCOM]		
項目	説明	
ダイアルアップ接続	・ダイアルアップ接続を使用「しない」又は「する」で設定を行います。	
	※デフォルトは、「しない」です。	
	※「する」を選択した場合に、以下の項目が表示されます。	
ユーザー名	・ダイアルアップ接続で使用するユーザー名を設定します。	
	※英文字の入力は大文字と小文字が区別されます。	
パスワード	・ダイアルアップ接続で使用するパスワードを設定します。	
	※英文字の入力は大文字と小文字が区別されます。	
ダイアル接続名	・ダイアルアップ接続の接続設定ファイル名を設定します。	
接続リトライ回数	・ダイアルアップ接続が失敗した時のリトライ回数を設定します。	
	※設定は、1~9回の間で行って下さい。	
接続タイムアウト	・ダイアルアップ接続のタイムアウト時間を設定します。	
	※設定は、60~999 秒の間で行って下さい。	

《DIEX 管理サ·	ーバー)	»
------------	------	---

🚯 T D C 遺信パッケージ O999SE1 [IO99	995E1:09995E1@UDCOM]		- 🗆 X
メイン ツール ヘルプ			
操作メニュー システム管理メニュー	- システム環境設定		
シフテレサ語 ガノマリマップ	DIEY等理H_II_ DIEV#、点 DIEV#、点 II	ン*** × #悪丸2	
システム共通 ライテルアック	DIEXELY // DIEXELY U-DIEXELY //	- ション 同報	更新
接続リトライ回数:	3		閉じる
接続タイムアウト:	30 (秒)		0100
管理サーバーアドレス:	tdcauth1.tns.ne.jp	(プライマリ)	
	tdcauth2.tns.ne.jp	(セカンダリ)	
管理サーバーボートNo:	15700		
項目説明· DIFX管理サ	- バー接待の環境を設定します。		
STRATES CALLER T			
09995E1 [109995E1:09995E1@UD	сом]		

項目	説明
接続リトライ回数	・DIEX(汎用)管理サーバーとの接続リトライ回数を設定します。
	※設定は、1~9回の間で行って下さい。
接続タイムアウト	・DIEX(汎用)管理サーバーとの接続タイムアウト時間を設定します。
	※設定は、30~999 秒の間で行って下さい。
管理サーバーアドレス	・DIEX(汎用)管理サーバー(プライマリ)のホスト名 又は
(プライマリ)	IP アドレスを設定します。
管理サーバーアドレス	・DIEX(汎用)管理サーバー(セカンダリ)のホスト名 又は
(セカンダリ)	IP アドレスを設定します。
管理サーバーポート No	・DIEX(汎用)管理サーバーとの通信で使用するポート No を
	設定します。
	※現状は、15700 となります。

## <管理サーバーアドレス値(ホスト名)>

利用回線	管理サーバーアドレス		
	プライマリ	セカンダリ	
イントラネット	tdcauth1.tns.ne.jp	tdcauth2.tns.ne.jp	
JNX	tdcauth1.jnx.tns.ne.jp	tdcauth2.jnx.tns.ne.jp	

▶ T D C 通信パッケージ O9995E1 [IO9995E1:O9995E1@UDCOM]	- 🗆 X
メイン ツール ヘルプ	
M作メニュー システム管理メニュー システム環境設定	
システム共通 ダイアルアップ DIEX管理サーバー DIEXセンター u-DIEXセンター バージョン情報	
接続小元/回数: 3	更新
接続タイムアウト: 30 (秒)	閉じる
ゲートウェイサーバーアドレス1:	
ゲートウェイサーバーアドレス2:	
ゲートウェイサーバーアドレス3:	
ゲートウェイサーバーアドレス4:	
ゲートウェイサーバーボートNo: 21	

項目	説明
接続リトライ回数	・DIEX(汎用)センターとの接続リトライ回数を設定します。
	※設定は、1~9回の間で行って下さい。
接続タイムアウト	・DIEX(汎用)センターとの接続タイムアウト時間を設定します。
	※設定は、30~999秒の間で行って下さい。
ゲートウェイサーバー	・現在、使用不可。
アドレス1~4	
ゲートウェイサーバー	・DIEX(汎用)センターとの通信で使用するポート No を設定します。
ポート No	※現状は、21 となります。

## 《u-DIEX センター》

🗘 T D C 通信パッケージ O9995E1 [IO9995E1@UDCOM]	×
メイン ツール ヘルプ	
操作メニュー システム管理メニュー システム環境設定	
システム共通 ダイアルアップ DIEX管理サーバー DIEXセンター u-DIEXセンター バージョン情報	
	更新
1会初2/12/1回版2. 5	閉じる
接続タイムアウト: 30 (秒)	
ゲートウェイサーバーアドレス: p-ftp.u-diex.jp	
ゲートウェイサーバーNo: 21	
暗号化	
暗号化フラグ: ○ OFF ④ ON	
X 143 Y 98 XM 43 YM 16 KM 793	
県目説明: U-DIEXセンター接続の環境を設定しより。	
09995E1 [109995E1:09995E1@UDCOM]	

項目	説明
接続リトライ回数	・u-DIEX(汎用)センターとの接続リトライ回数を設定します。
	※設定は、1~9回の間で行って下さい。
接続タイムアウト	・u-DIEX(汎用)センターとの接続タイムアウト時間を設定します。
	※設定は、30~999秒の間で行って下さい。
ゲートウェイサーバー	・u-DIEX(汎用)センターのホスト名 又は IP アドレスを設定します。
アドレス	※現状のホスト名は、 p-ftp.u-diex.jp となります。
ゲートウェイサーバーNo	・u-DIEX(汎用)センターのポート No を設定します。
	※現状は、21 となります。
暗号化フラグ	・u-DIEX(汎用)センターと通信する時に送受信するデータを
	暗号化するかどうかの設定を行います。
	※X は、暗号化に使用する定数 X の設定をします。
	※Y は、暗号化に使用する定数 Y の設定をします。
	※XM は、暗号化に使用する定数 XM の設定をします。
	※YM は、暗号化に使用する定数 YM の設定をします。
	※KM は、暗号化に使用する定数 KM の設定をします。
	※設定値は絶対に変更しないでください。

🗘 T D C 通信パッケージ O999SE1 [IO999SE1:O999SE1@UDCOM	0	- 🗆 X
メイン ツール ヘルプ		
キャメニュー システム管理メニュー システム環境設定		
システム共通 ダイアルアップ DIEX管理サーバー	- DIEXセンター u-DIEXセンター バージョン情報	
クライアント識別: TDC通信パッケージ(64	4bit)	更新
バージョン: 1.1.1	KCREA ★1	閉じる
項目説明: バージョン債報を表示します。 9995E1 [109955E1:09955E1@UDCOM]		
	= 20 00	
項目	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	
俱目 (二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(		

#### 2. 画面を終了したい時

バージョン

・システム環境設定画面を終了したい場合は、マウスで画面上の [閉じる] ボタンのクリックにより終了を 行います。

セットアップされているパッケージのバージョンを表示します。

## 3. 2.2 ユーザー登録

表	利用者名称	DIEX汎用ユーザーID	u-DIEXプロセスID	取引先コード	新規登録
09999	5E1	I0999SE1	0999SE1@UDCOM	8489SE1	
09990	006		0999006@UDCOM	8489006	削除
09999	GE2		0999SE2@UDCOM	8489SE2	
09990	002	91219090		8489002	发史
09993	301	93119390		8489301	1000 0000
09998	FAX	KO999FAX		8489FAX	92.11
09990	001	931M9090		8489001	閉じる
0999	/SD		0999YSD@UDCOM	8489YSD	1000
09990	J05	9F5M9U90	0999U05@DCS01	8489U05	

#### 【機能概要】

- ・システムを使用するユーザーの新規登録・削除・変更・更新を行います。
- ・システム内で代表として使用されるユーザーの指定を行います。

・ユーザーの削除を行うことにより、関連するタイマー起動情報及び保管されているファイルの削除を行います。

#### 【運用手順】

①ユーザー登録画面起動時にパスワードマスタの検索を行い、登録済みユーザーの一覧表示を行います。

- ②メンテナンス作業(新規登録・削除・変更)を行います。
- ③代表ユーザーの指定を行います。

④メンテナンス内容を、ユーザー情報として反映を行います。(更新)

※設定を変更した場合は必ずシステムの再起動を行って下さい、再起動を行わないまま 使用するとトラブルの原因となります。

#### 【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

#### 1. 一覧表示

・画面の起動時に、登録済みのユーザー情報をパスワードマスタより一覧表示を行います。 ※代表ユーザーは代表列のチェックが ON になります。

#### 2.新規登録

- ・新規にユーザーを登録する場合は、マウスでユーザー登録画面上の [新規登録] ボタンの クリックにより表示されるユーザー登録画面で登録を行います。
- ・新規登録ユーザーの設定完了後、マウスでユーザー登録画面上の [登録] ボタンのクリックにより、 親画面(ユーザー登録画面)上の一覧表示の最終行に登録されたデータが追加されます。

<設定項目>

登録
戻る

項目	説明
利用者名称	・1~16 文字で設定を行います。
	※英文字の入力は大文字と小文字が区別されますが、
	大文字と小文字が異なるのみの名称など
	システム管理上紛らわしい設定はしないで下さい。
取引先コード	・登録するユーザー自身の取引先コードを1~8文字で
	設定を行います。

X

## 《DIEX 汎用》

A T D C 通信がったージ DopoSE1 (IOppoSE1:OppoSE1:0)	CDM1	-
		- 0 ^
×1> 9-1 ~1.)		
操作メニュー システム管理メニュー ユーサー登録		
共通 DIEX汎用 u-DIEX		
□ DIEX汎用を利用する		登録
◎ 管理サーバー経由		戻る
管理サーバー ログオンユーザーID(*):		
管理サーバー ログオンバスワード(*):		
リトライ回数(*): 3		
○ 管理サーバー経由しない		
EDI-ID(*):		
パスワード(*):		
状況確認 タイマー起動時間:	诗 分	
09995E1 [109995E1:09995E1@UDCOM]		

項目	説明
「DIEX 汎用を利用する」	・DIEX(汎用)を利用するユーザーを設定する場合に、チェックボックスを
	チェックします。チェックされると、各設定項目が入力可能となります。
「管理サーバー経由」	・管理サーバーを経由して DIEX(汎用)を利用する場合に選択します。
	※選択されると「管理サーバーログオンユーザーID」「管理サーバー
	ログオンパスワード」「リトライ回数」が入力可能になります。
管理サーバー	・1~10 文字の半角英数字で設定を行います。
ログオンユーザー ID	※英文字の入力は大文字と小文字が区別されます。
管理サーバー	・1~8文字の半角英数字で設定を行います。
ログオンパスワード	※英文字の入力は大文字と小文字が区別されます。
リトライ回数	・通信処理エラーの場合に繰り返しを行う回数を1~9回の範囲で
	設定を行います。
「管理サーバー経由	・現在、使用不可。
しない」	
状況確認タイマー	・状況確認データの受信処理を行う時刻の設定を行います。
起動時間	

#### 《u-DIEX》

♪ T D C 通信パッケージ O9995E1 [IO9995E1:09995E1:0000COM]	- 🗆 X
メイン ツール ヘルプ	
▶作メニュー システム管理メニュー ユーザー登録	
共通 DIEX汎用 u-DIEX	
<ul> <li>u-DIEXを利用する</li> </ul>	登録
TOURID(*): @ UDCOM	戻る
受信/以(*):	

項目	説明
「u-DIEX を利用する」	・u-DIEX(汎用)を利用するユーザーを設定する場合に、チェックボックスを
	チェックします。チェックされると、各設定項目が入力可能となります。
プロセス I D	・プロセス ID を設定します。
受信パス	・u-DIEX(汎用)上での受信フォルダのパスを設定します。

#### 3. 削除

- ・登録済みのユーザーを削除する場合は、マウスでユーザー登録画面上の [削除] ボタンのクリックにより 削除を行います。
- ・削除する前に削除されるユーザーのパスワードを入力する画面(パスワード入力画面)が表示されます。 管理サーバー(DIEX(汎用)ユーザー)または u-DIEX(汎用)ユーザーで登録されているパスワードを 入力し、[OK] ボタンをクリックして下さい。

(削除取り消しの場合は、[キャンセル]ボタンをクリックして下さい。)

管理サーバーまたはu-DIEXへのログオンパスワードを入力してびださい、 ユーザーID: 9U3D9U90 パスワード(+):	オンパスワード	を入力してください。
ューザーID: 9U3D9U90		
パスワード(*):		
		OK

・パスワード入力画面で正しいパスワードが入力された後、削除を確認するメッセージボックスが表示され、 対象となるユーザー I Dを表示して確認を行います。 [はい] を選択した場合は画面より削除を行い、 [いいえ] を選択した場合は、削除のキャンセルとなります。

産認メット	2-9	×
0	削除するユーザーの情報は、システム内より全て消去されま	<b>J</b> .
	下記のデータを削除します。	
	ユーザーID:0999005@DC501	
	よろしいですか?	
	OK +++>+	セル

#### 4. 変更

- ・既に登録されているユーザーの情報を変更する場合は、マウスでユーザー登録画面上の [変更] ボタンの クリックにより、登録済の DIEX(汎用)管理サーバーまたは u-DIEX(汎用) へのログオンパスワードを 入力後、表示されるユーザー登録画面で変更を行います。
- ・設定項目は、2.新規登録の場合と同様に設定を行いますが、共通画面の利用者名称と u-DIEX 画面のプロセス ID は変更不可となります。

## 5. 代表ユーザー指定

・システム内で代表となるユーザーの指定を行います。指定の方法は、一覧表示されているユーザーの 代表列にあるチェックボックスをマウスでクリックする事で指定を行います。 チェックボックスが ON になっているデータが代表ユーザーとなります。

※メンテナンス内容が代表ユーザーの変更のみでも、更新処理による反映が必要です。

#### 6. 更新

- ・メンテナンスを行った内容をパスワードマスタに反映する場合は、マウスでユーザー登録画面の [更新]ボタンのクリックにより反映を行います。
- ※メンテナンス作業(新規登録・削除・変更・代表ユーザー変更)が行われていない時は、 更新は行えません。
- ※更新が行われた時点で、削除されたユーザーの情報がシステム内より全て削除されます。 削除したくない場合は、更新処理を行わずに画面を終了して下さい。

#### 7. 画面を終了したい時

 ・ユーザー登録画面を終了したい場合は、マウスで画面上の [閉じる] ボタンのクリックにより終了を行います。
 ・メンテナンス作業が行われている場合は、メッセージボックスにてメンテナンス内容を破棄して良いか 確認を行います。

[はい]を選択した場合は破棄され、[いいえ]を選択した場合は画面終了のキャンセルとます。

# 4. ツール

## 4. 1 バックアップ・リストアツール



#### 【機能概要】

・TDC 通信パッケージのマスタ情報、ログ情報などのバックアップを行います。 また、以前バックアップしたファイルからマスタ情報、ログ情報などをリストアします。

※サービス起動でシステム稼働中(サービス起動・ローカル起動)の場合、 バックアップ・リストアを行うには、システム停止が必要となります。

システムが停止していない場合、以下のエラーが表示されます。



#### 【運用手順】

①システム稼働中であれば、システム停止を行います。

- ② [ツール] [バックアップ・リストア] にてバックアップ・リストアツールを起動します。
- ④ バックアップ、または、リストアを行います。
- ⑤ 画面を終了する場合は、[閉じる]を押下します。

#### 【操作説明】

・入力項目、および選択項目についての指定方法を説明します。

## <u>1. バックアップを行う</u>

バックアップの対象情報の選択と作成するバックアップファイル名を指定して、「バックアップ」を押下します。

A)マスタ情報、ログ情報、ローカル保管ファイル、プログラムから対象情報を選択します。(複数選択可)

<設定項目>

項目	説明
マスタ情報	・ユーザー登録情報、メッセージマスタ、アドレス帳マスタ、
	スケジュールマスタ、振分けマスタ、システム環境設定などを
	バックアップの対象にする場合にチェックします。
	・デフォルトでチェック済みになっていますので、取らない場合は外します。
ログ情報	・ログ情報をバックアップの対象にする場合にチェックします。
	・デフォルトでチェック済みになっていますので、取らない場合は外します。
ローカル保管ファイル	・TDC 通信パッケージ内部に一定期間保管している受信ファイル、
	送信ファイルをバックアップの対象にする場合にチェックします。
	※授受回数・量が多い環境では、バックアップファイルのサイズが
	大きくなる場合があります。
プログラム	・TDC 通信パッケージのプログラム及びプログラム実行に
	関係する環境データをバックアップの対象にする場合にチェックします。
	※バックアップファイルのサイズが 5MB 強となります。

※バックアップファイルからリストアする場合、バックアップ時に処理対象とした情報の中から

リストアする対象を選択します。バックアップしていない情報を選択してリストアはできません。

B)バックアップファイル名(フルパス)を入力します。

<設定項目>

項目	説明		
ファイル名	・デフォルトで、現在日時より命名したバックアップファイル名が		
	表示されます。		
	・デフォルトのバックアップファイル出力先は、以下となります。		
	"C:¥EDI¥Backup¥"		
	・デフォルト表示とは違うバックアップファイル名にする場合は、		
	フルパスでファイル名を入力します。		

※同じファイル名のファイルが既に存在する場合は、 [バックアップ] 押下時にエラーとなります。

※ [参照] 押下で、ファイルを選択する画面が表示されます。(画面イメージは、リストアの手順参照) 尚、ファイルを選択入力することも可能ですが、ファイル名は変更する必要があります。

C) [バックアップ] を押下します。

正常にバックアップが取れた場合は、指定した場所に指定したファイル名で zip 圧縮されたファイルが 作成され、「バックアップ処理が正常に終了しました。」が表示されます。

<u>2. リストアを行う</u>

リストアするバックアップファイル名を指定して、復元する対象情報を選択し、「リストア」を押下します。

## A) リストアするバックアップファイル名(フルパス)を指定します。

#### <設定項目>

項目	説明
ファイル名	・デフォルトのバックアップファイルの保管先は、以下となります。
	"C:¥EDI¥Backup¥"
	・ [参照] でのファイル選択、もしくは、フルパスでファイル名を入力します。

※ [参照] 押下で、以下の画面が表示されます。リストア対象のバックアップファイルを選択します。

← → - ↑ 📑 > 1	PC > ローカルディスク(G) > EDI > Backup >	~	ひ Backupの検	\$
整理 - 新しいフォルタ	1-			BH • 🔲
PC (	<b>名</b> 前	更新日時	種類	サイズ
3Dオブジェクト	1 tns_backup20181220110831.zip	2018/12/20 11:08	ZIP ファイル	85 KB
ダウンロード	1 tns_backup20181220110832.zip	2018/12/20 11:09	ZIP ファイル	5,217 KB
#77hu7	🔛 tns_backup20181224160650.zip	2018/12/24 16:13	ZIP ファイル	90 KB
- 7A71-97	tns_backup20190722161459.zip	2019/07/22 16:15	ZIP ファイル	158 KB
	tns_backup20190722161642.zip	2019/07/22 16:16	ZIP ファイル	158 KB
■ ビクチャ	tns_backup20190722165724.zip	2019/07/22 16:57	ZIP ファイル	158 KB
■ ビデオ	tns_backup20190722165725.zip	2019/07/22 17:00	ZIP ファイル	158 KB
♪ ミュージック	🔯 tns_backup20190723093048.zip	2019/07/23 9:30	ZIP ファイル	34 KB
ローカルディスク (C)	tns_backup20190723093049.zip	2019/07/23 10:16	ZIP ファイル	124 KB
🛖 公開文書 (¥¥ad.(	tns_backup20190723093050.zip	2019/07/23 10:17	ZIP ファイル	9 KB
● 本社 (Wad.d-cru	tns_backup20190723093051.zip	2019/07/23 10:18	ZIP ファイル	5,130 KB
壹 昱田支店 (¥¥ad.c、				
<b>{ /</b> 71"	イル毛(N):		<ul> <li>バックアップフ</li> </ul>	マイルファイル(*.zip)
			BR((O)	キャンセル

から処理対象とする情報を選択します。

<設定項目>	>
--------	---

項目	説明
マスタ情報	・バックアップファイルからユーザー登録情報、メッセージマスタ、
	アドレス帳マスタ、スケジュールマスタ、振分けマスタ、
	システム環境設定などをリストアする場合にチェックします。
	・デフォルトでチェック済みになっていますので、復元しない場合は外します。
ログ情報	・バックアップファイルからログ情報をリストアする場合にチェックします。
	・デフォルトでチェック済みになっていますので、復元しない場合は外します。
ローカル保管ファイル	・バックアップファイルから受信ファイル、送信ファイルを
	リストアする場合にチェックします。
プログラム	・リストアはできません。チェックした場合は、外してください。

※対象のバックアップファイルに含まれている処理対象とした情報の中からリストアする対象を選択します。 バックアップしていない情報をチェックして [リストア] 押下した場合は、

「バックアップされていないデータをリストアしようとしました。」が表示されます。

※プログラムをチェックして [リストア] 押下した場合は、

「プログラムを指定してのリストアは出来ません。チェックを外してください。」が表示されます。

※TDC 通信パッケージの各種プログラムは、基本的にインストールにて導入します。 従いまして、バックアップファイルからリストアすることは基本的にありません。 C) [リストア] を押下します。

正常にリストアが完了した場合は、「リストア処理が正常に終了しました。」が表示されます。

## 3. バックアップ・リストアツールを終了する

[閉じる] を押下します。

## 4.2 設定情報取得ツール

	^
通信パッケージの障害調査用の情報を取得します。 追加対象を選択しててださい	取得
ローカル保管ファイル	閉じる
□ プログラム	
ファイル名: C:¥EDI¥Backup¥tns_backup20190723132239.zip	

#### 【機能概要】

・TDC 通信パッケージの調査用の情報を取得します。

※TDC 通信パッケージでエラーが発生し、弊社カスタマーセンターにお問合せを頂いた際に、 本機能を使用して情報を取得頂く案内をさせていただくことがあります。 詳細は、弊社カスタマーセンターからの案内の際に説明がありますので、 その内容に従ってご対応頂けます様、お願いいたします。

※取得した調査情報ファイル(zip ファイル)は、依頼元(通常は、弊社カスタマーセンター)に メールなどの方法でご送付ください。

※調査の為に、調査情報ファイルの他に、タスクマネージャーの画面コピー、OS の情報などを合わせて 取得頂くこともあります。ご了承ください。

#### 【運用手順】

①システム稼働中であれば、システム停止を行います。

- ② [ツール] [設定情報取得ツール] にて設定情報取得ツールを起動します。
- ③情報の取得を行います。
- ④画面を終了する場合は、 [閉じる] を押下します。
- ⑤取得した情報を依頼先に送付します。

#### 【操作説明】

・入力項目、および選択項目についての指定方法を説明します。

#### 1. 調査用情報を取得する

対象情報の選択と作成する調査情報ファイル名(zip ファイル)を指定して、 [取得] を押下します。

A)ローカル保管ファイル、プログラムの情報を追加で取得するか選択します。(複数選択可)

<設定項目>

項目	説明	
ローカル保管ファイル	・TDC 通信パッケージ内部に一定期間保管している受信ファイル、	
	送信ファイルを追加で取得する場合にチェックします。	
	※授受回数・量が多い環境では、調査情報ファイルのサイズが	
	大きくなる場合があります。	
プログラム	・TDC 通信パッケージのプログラム及びプログラム実行に	
	関係する環境データを追加で取得にする場合にチェックします。	
	※調査情報ファイルのサイズが 5MB 強となります。	

※調査に必須の情報(マスタ情報、ログ情報)はチェック不要で取得します。

※依頼者から追加で取得する指示があった場合にチェック頂きます。指示が無い限りはチェック不要です。

B) 調査情報ファイル名(フルパス)を入力します。

<設定項目>

項目	説明		
ファイル名	・デフォルトで、現在日時より命名したファイル名が表示されます。		
	・デフォルトのファイル出力先は、以下となります。		
	"C:¥EDI¥Backup¥"		
	・デフォルト表示とは違うファイル名にする場合は、フルパスで		
	ファイル名を入力します。		

※同じファイル名のファイルが既に存在する場合は、 [取得] 押下時にエラーとなります。

C) [取得] を押下します。

正常に取得できた場合は、指定した場所に指定したファイル名で zip 圧縮されたファイルが 作成され、「設定情報の取得が正常に終了しました。」が表示されます。

#### 2. 設定情報取得ツールを終了する

[閉じる] を押下します。

## 4.3 自動起動設定ツール

🚺 自動起動設定ツール			- 🗆 X
通信パッケージの自動起動	方法を設定します。		設定
※自動起動する場合は、次回起動時反映されます。			
※設定後は、OSの再起動	を設定してください。		閉じる
自動 <mark>起動</mark> :	<ul> <li>   自動起動する  </li> </ul>	○ 自動起動しない	
ネットワークドライブ利用:	○ 利用する	● 利用しない	

#### 【機能概要】

・TDC 通信パッケージの自動起動設定を変更します。

※TDC 通信パッケージのシステム起動中は、自動起動設定を変更することができません。起動中に画面を 開いた場合は、以下のメッセージが表示されます。システム停止を行ってから設定変更を行います。 「通信パッケージが起動しています。停止してから実行してください。」

※設定変更後は、OSの再起動を行う必要があります。

※Ver1.1.1 から追加された機能です。

#### 【運用手順】

①システム稼働中であれば、システム停止を行います。

② [ツール] - [自動起動設定ツール] にて自動起動設定ツールを起動します。

③現在の設定内容にて表示されます。

④設定を変更し、[設定]を押下します。※[設定]を押下しないと設定は保存されません。⑤画面を終了する場合は、[閉じる]を押下します。

## 【操作説明】

・入力項目、および選択項目についての指定方法を説明します。

## 1. 自動起動設定を変更する

自動起動とネットワークドライブ利用の指定を行い、「設定」を押下します。

A)条件を選択入力します。

<設定項目>

項目	説明
自動起動	・端末の起動に合わせて TDC 通信パッケージを自動的に
	システム起動する場合は、『自動起動する』を選択します。
	自動起動させない場合は、『自動起動しない』を選択します。
	※自動起動させない場合は、システム起動・停止画面より
	起動する必要があります。
ネットワークドライブ利用	・送受信ファイルの格納先にネットワークドライブを利用する環境の
	場合は、『利用する』を選択します。利用しない環境の場合は、
	『利用しない』を選択します。
	※ネットワークドライブを利用する場合が一部のデータの授受のみで
	あっても、利用する場合は『利用する』を選択してください。

※画面表示直後の選択状態は、現在設定されている内容です。

B) [設定] を押下します。

正常に設定できた場合は、「自動移動設定が正常に終了しました。」が表示されます。

## 2. 自動起動設定ツールを終了する

[閉じる] を押下します。

# 5. 補足

## 5.1 受信ファイル命名規則

・受信ファイル名は、命名規則に沿って通信パッケージにて付与されます。 ・ファイル形式によって命名規則は異なります。

## 【TNS 標準形式(TNS 形式)】

#### ①ファイル統合="しない"で受信した場合

命名規則:「FFF.YYMMDDSEQ.TTTTT.EXT」

文字列	意味
FFF	ヘッダーレコード内に記載されているファイルコード
YYMMDD	ヘッダーレコード内に記載されている作成日付
SEQ	ヘッダーレコード内に記載されている作成日付シーケンス No.
ТТТТТ	ヘッダーレコード内に記載されている発信元取引先コード
EXT	メッセージマスタに登録されているファイルタイプ拡張子

#### ②ファイル統合="する" & 発信元を指定して受信した場合

命名規則:「MMMMMMMMM.YYYYMMDDSEQ.UUUUU.EXT」

文字列	意味
МММММММ	受信画面や API で指定したメッセージ識別子
YYYYMMDD	システム日付
SEQ	メッセージ識別子ごとの当日受信ファイルのカウント数(000~999)
	※カウント数は、通信パッケージが管理。
υυυυυ	受信画面や API で指定した発信元
EXT	メッセージマスタに登録されているファイルタイプ拡張子

#### ③ファイル統合="する"で受信した場合

命名規則:「MMMMMMMM.YYYYMMDDSEQ.EXT」

文字列	意味
МММММММ	受信画面や API で指定したメッセージ識別子
YYYYMMDD	システム日付
SEQ	メッセージ識別子ごとの当日受信ファイルのカウント数(000~999)
	※カウント数は、通信パッケージが管理。
EXT	メッセージマスタに登録されているファイルタイプ拡張子

### 【TNS 拡張形式】

### ①ファイル統合="しない"で受信した場合

命名規則:「FFFGGGGG.SSYYMMDDNNSEQ.TTTTTUUU.EXT」

文字列	意味
FFF	ヘッダーレコード内に記載されているファイルコード
GGGGG	ヘッダーレコード内に記載されているファイル詳細コード
SS	ヘッダーレコード内に記載されている作成日付世紀
YYMMDD	ヘッダーレコード内に記載されている作成日付
NN	ヘッダーレコード内に記載されている作成日付シーケンス No.拡張
SEQ	ヘッダーレコード内に記載されている作成日付シーケンス No.
ТТТТТ	ヘッダーレコード内に記載されている発信元取引先コード
UUU	ヘッダーレコード内に記載されている発信元取引先コードサブアドレス
EXT	メッセージマスタに登録されているファイルタイプ拡張子

## ②ファイル統合="する" & 発信元を指定して受信した場合

命名規則:「MMMMMMMM.YYYYMMDDSEQ.UUUUU.EXT」

文字列	意味
МММММММ	受信画面や API で指定したメッセージ識別子
YYYYMMDD	システム日付
SEQ	メッセージ識別子ごとの当日受信ファイルのカウント数(000~999)
	※カウント数は、通信パッケージが管理。
υυυυυ	受信画面やAPIで指定した発信元
EXT	メッセージマスタに登録されているファイルタイプ拡張子

#### ③ファイル統合="する"で受信した場合

命名規則:「MMMMMMMM.YYYYMMDDSEQ.EXT」

文字列	意味
MMMMMMM	受信画面や API で指定したメッセージ識別子
YYYYMMDD	システム日付
SEQ	メッセージ識別子ごとの当日受信ファイルのカウント数(000~999)
	※カウント数は、通信パッケージが管理。
EXT	メッセージマスタに登録されているファイルタイプ拡張子

【自由形式】 ※TDC 標準形式(標準形式)も同様の命名規則です。

## ①発信元を指定して受信した場合

命名規則:「MMMMMMMM.YYYYMMDDSEQ.UUUUU.EXT」

文字列	意味
МММММММ	メッセージ識別子
YYYYMMDD	システム日付
SEQ	メッセージ識別子ごとの当日受信ファイルのカウント数(000~999)
	※カウント数は、通信パッケージが管理。
υυυυυ	受信画面やAPIで指定した発信元
EXT	メッセージマスタに登録されているファイルタイプ拡張子

## 2発信元を指定せずに受信した場合

命名規則:「MMMMMMMM.YYYYMMDDSEQ.EXT」

文字列	意味
МММММММ	メッセージ識別子
YYYYMMDD	システム日付
SEQ	メッセージ識別子ごとの当日受信ファイルのカウント数(000~999)
	※カウント数は、通信パッケージが管理。
EXT	メッセージマスタに登録されているファイルタイプ拡張子

※注意

TNS 標準形式(TNS 形式)、TNS 拡張形式のファイルをファイル統合して受信する場合に限り、 任意のファイル名を付けて受信することも可能です。

## 5. 2 アプリケーションフォーマット

・各アプリケーションフォーマットのレイアウトは、以下に公開されています。

#### ■QA サイトを表示機能から参照。

- 1) QA サイトを表示 ※「4.3 QA サイトを表示」を参照
- 2)「TDC 通信パッケージとは」のリンクをクリック
- 3) 「TNS フォーマットについてはこちら」のリンクをクリック
- 4) アプリケーションフォーマットのレイアウト説明ページが表示されます。
- アプリケーションフォーマットのレイアウト説明ページに直接アクセスして参照 https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/tns\_format.html